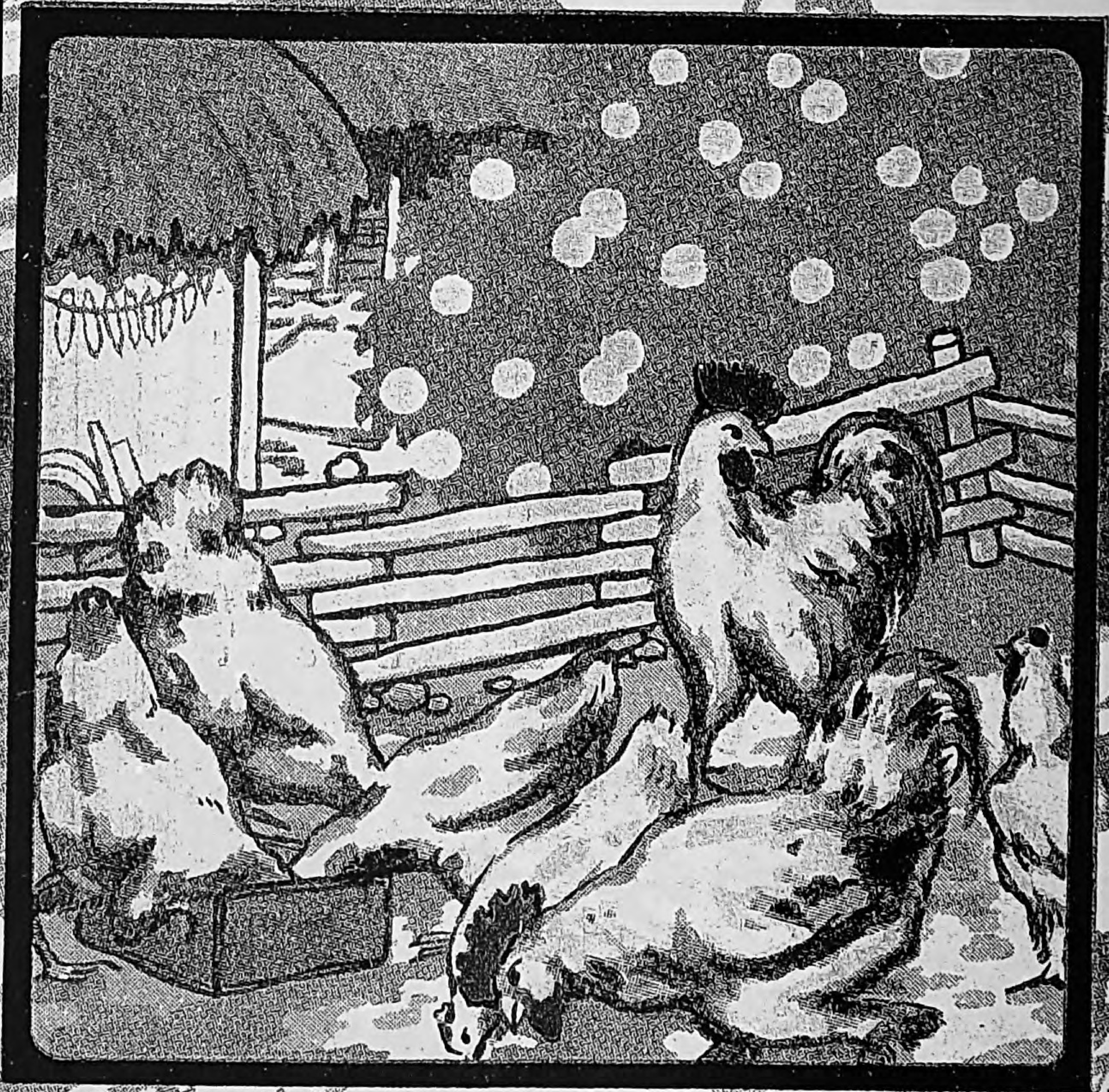
4巻3号

處女の友

第四巻　三月　第三號

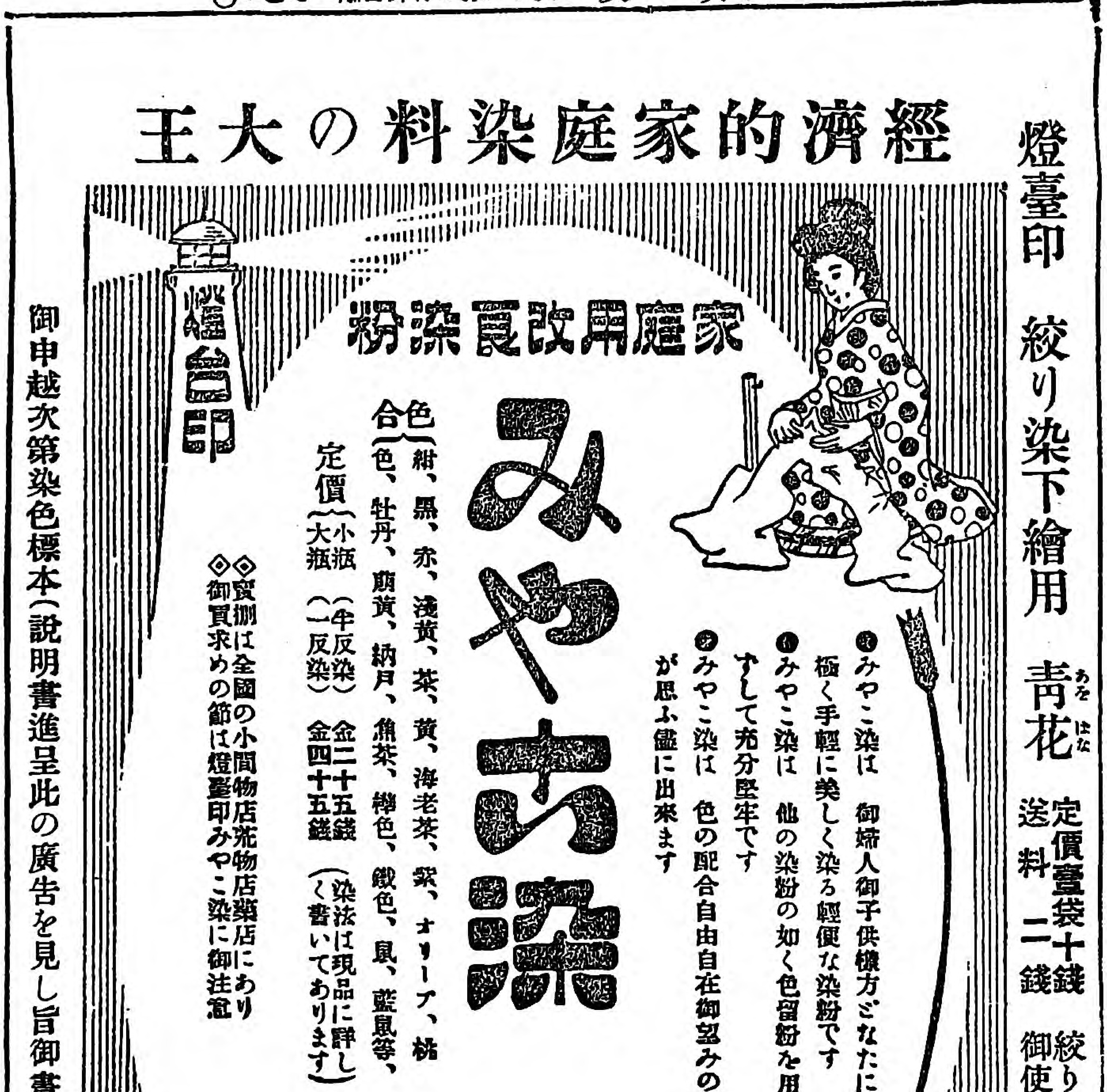
大正十年二月廿七日印刷納本　大正七年十二月二十五日第三種郵便物認可
大正十年三月一日發行（毎月一回一日發行）



處女會中央部發行

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

〇御註文の節は處女の友の廣告に據る旨御書添へを乞ふ〇



電燈の進歩に伴はざる
笠の惱み!
電燈創始時代の單純偏平な笠は
時代後れを示します
形と色とは審美的に
配光は學理的に作り上げられたる
乳色硝子製
ベルリア反射笠!
之は夜間家庭平和の象徴です
三尾
神奈川縣川崎町
JEC 東京電氣株式會社
出張販賣部所
東京市京橋區銀座尾張町一ノ一　電話銀座 長一三七一・一三七〇 / 一三七二
大阪市西區阿波座通一ノ五　電話新町 長六三〇・八九八 / 長八九九
門司市西本町三ノ二九　電話長四六・六八二
此雜誌名及び商品名御報の方へは說明書謹呈
D-21

處女の友

三月號

大正十年三月一日發行

○表紙　農家の春……田代紫光筆

○口繪　岐阜縣關町婦人會／岐阜縣神淵村處女會

◎記　事◎

▽卷頭（山の人情）……一

▽社説 女のわる口……二

▽一國富強の源……貴族院議員法學博士　山脇玄……五

▽肉食よりも菜食……農科大學教授法學博士　澤村眞……八

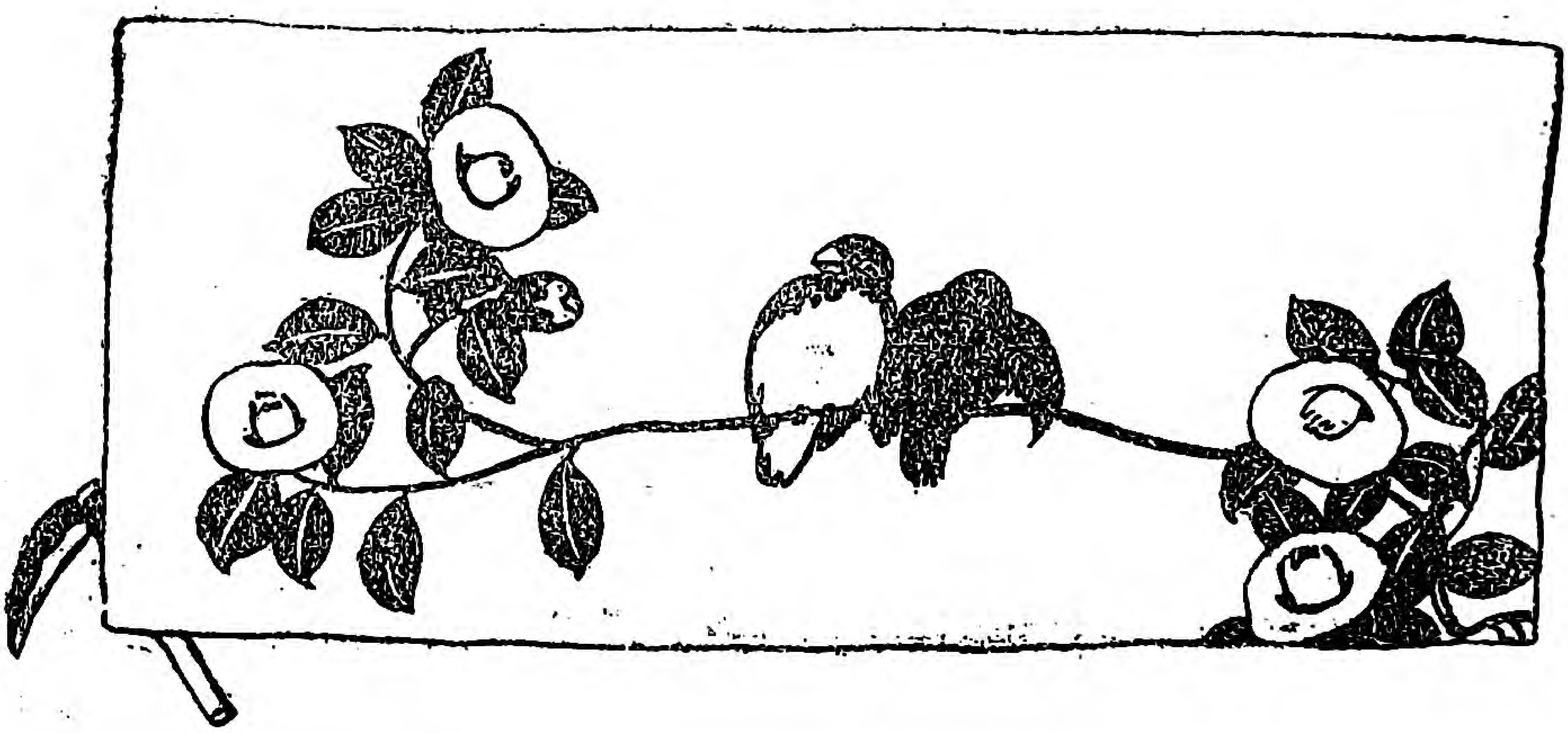
▽孝行は何時よりなすべきかといふ問に答へて……山脇高等女學校長本會理事　山脇房子……一〇

▽印度の兄弟達と桃太郎さん……内務省囑託本會理事　天野藤男……一三

▽腹合せ帯の縫方……大妻技藝學校長本會評議員　大妻コタカ……一六

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN



▽御氣付きでせうか……六
▽日本は火山國……二〇
▽金網と五德の身上話……三
▽處女會巡り……天野生……二五
▽友情（その七）……三三
▽台所から……深緑……三三
▽自然に親しみ乍ら……三八
▽女傑ヂヤンヌの話（完結）……岡なをじ……四一
▽ひなまつりと桃の花……四六
▽地方通信……四七
▽處女文壇……五〇
▽處女歌壇……五一
▽處女俳壇……五二
▽誌友くらぶ……五三
▽考へ物……五七
▽編輯だより……五七

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

ホーカー液懸賞語呂合募集

懸賞語呂合課題

〔課題〕色白くなるホーカー液

右の語呂に合せた名文句を募集致します續々御投稿下さい

作例——題、ホーカー白粉白さが異ふ
答、櫻花は吉野路史の香が匂ふ

應募規定

□用紙……官製ハガキに限る
□締切……四月十五日限り
□宛名……堀越商店廣告部
□雜誌名……本廣告を見たる雜誌名を必らず記入するこご

——發表は六月號の本紙上を以てす——

——特に御婦人方の御投稿を歡迎す——

——賞金——

一等 金拾圓（一名）
二等 金拾圓（五圓宛二名）
三等 金拾圓（二圓宛五名）
四等 化粧品詰合箱（一箱宛廿名）
五等 ホーカー液（一本宛卅名）

ホーカー液ホーカー白粉ホーカーオナーホーカー美髮液本舗
ホーカーバットホーカークリム白粉ホーカーポーマード本舗

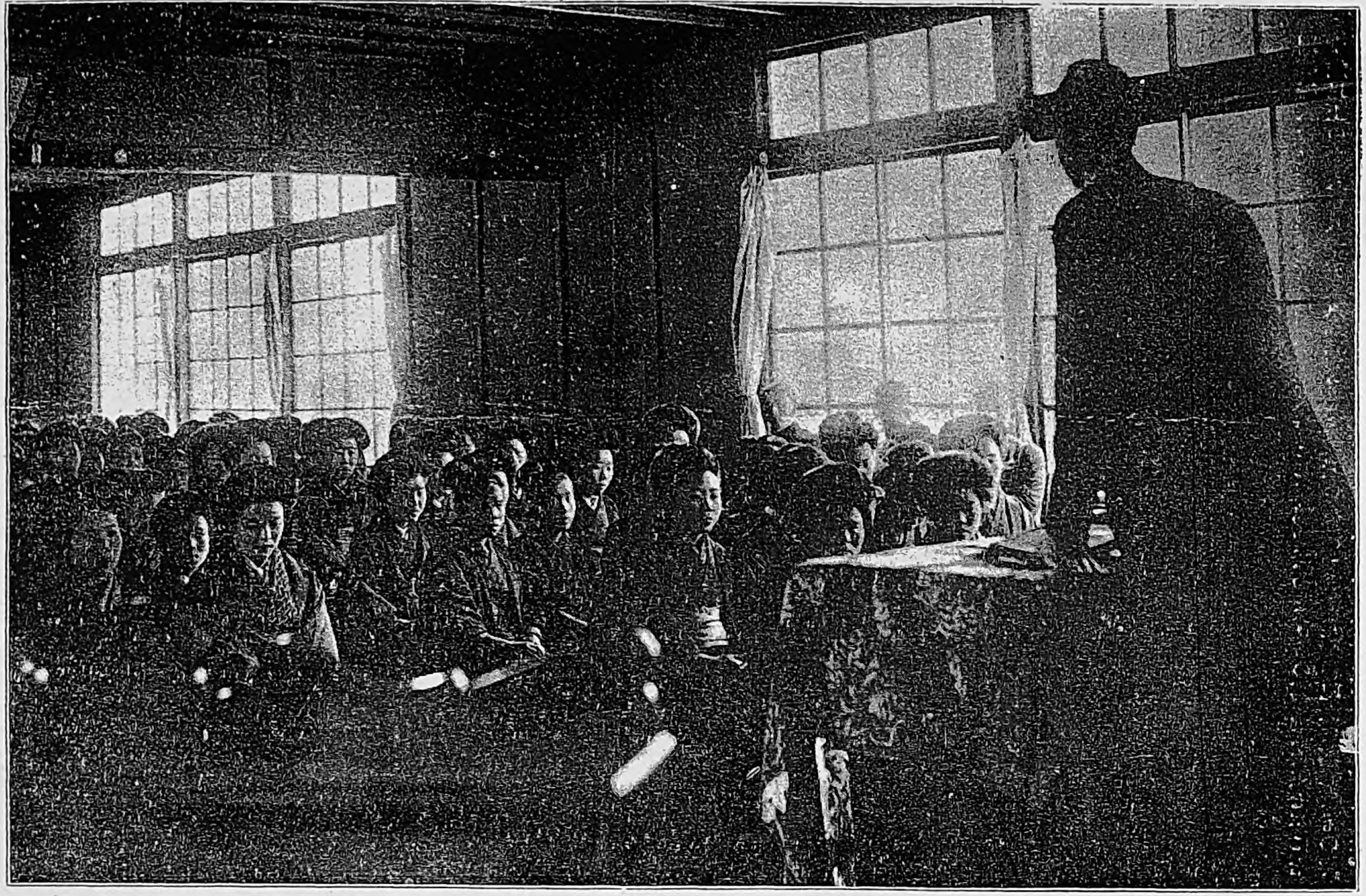
東京神田和泉橋際 堀越嘉太郎商店
電話神田一四三、一四四、一四五
振替東京一一五六

關町(岐阜縣武儀郡)婦人會(會員の一部)

關町婦人會は岐阜縣下でも優良な婦人會として鳴つてゐますこの寫眞は大正七年に七十歳以上の老人百八十五人をお招きして敬老會を開きました時の紀念に寫したもので別にお年寄ばかり寫したのがありましたがあまり小さいので會員の方を揭げました。（處女會めぐり參照）

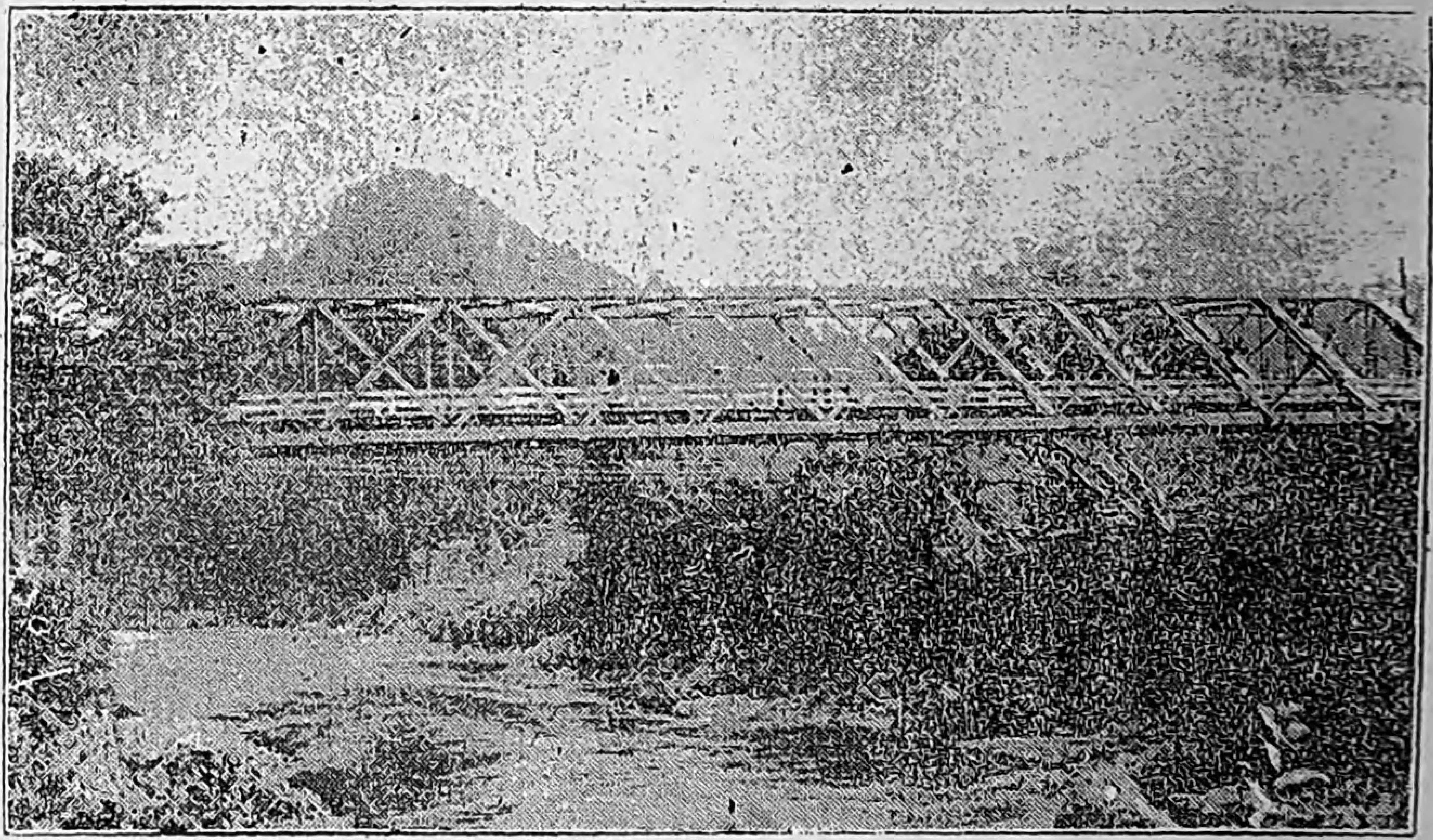
Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

神淵村(岐阜縣武儀郡)處女講話會



神淵村處女會は去る一月十六日同村小學校の講堂で處女講話會を開きました。寫眞は天野理事が處女敎訓「强く優しくまじめに働け」について講話して居られる所であります。(處女會めぐり參照)

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN



美濃飛彈國境の橋

山の人情

世の中が開け、人智が進めば進むほど人情は温くなり深切な人がふえるはづですが、事實はさうばかりでありません。却つて町を離れた山の中の方が人が深切で、里柄もいゝように思ひます。岐阜縣の山奥へ旅しました。中には床屋まで三里といふ村もありましたが、山には青々と樹木が茂り、谷には玉のような清水が流れ其處に住む人たちは、みな温い人情の持ち主で、隣保助け合ひ、平和な暮らしを營んで居ります。人のほんとうの幸福は、平和なる里に、睦ましい家庭をつくることです。着物や食べ物や、乘り物は、その幸福に達する一つの手段であるのです。山に生れた娘さんたちよ、こゝをとくと悟つていたゞきたい。

井戸の蛙とそしらばそしれ
花も散り込む月もさす

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

社說

女のわる口

常に婦人の立場に同情して參りましたが、今回は婦人の缺點と思はれる二三を擧げてみませう。孔子も日に三たび我身を省みて修養向上の資料とせよと申されました。兎角自分の缺點短所はわかりにくいものです。

○先天的の短所

先づ古來から婦人が持つて生れた缺點と言はれてゐますのは、(一)嫉妬(二)猜疑(三)恐怖の三つであると言ふことです。皆さんには、釋迦に說法であるが他山の石として聞いて下さい。

嫉妬は他人の地位、身分、實力、功名、成功などに對して一種の反感をもつことです。人は誰しも名譽心をもつてゐます。我が地位を上げ、生活を向上したいといふ心持があります。だからお互は、お互の其の心持を尊重し合つて、他人の名譽、他人の地位の高まるように讓り合はねばなりません。世の中は實力の競爭ですから、正々堂々と勝敗を爭ふのはいゝことですが、他人に敗けたからといつて、其の人をあしげに言ひ、その人の不德を奸くようなことは小人のなすことです。「羨ましい」といふ心は、言はゞ努力の種子ともなるものであるからいゝが、正當に競爭もしないで、只わる口などいふのは、實に見下げ果てたことです。

猜疑心は疑ぐり深い心です。誰か何んとか言ひはしないか、あの人のそぶりがをかしい、私のわる口言つたのはたしかにあの人でせうといふように、矢鱈に人を疑つて、故らに、自分の天地を狹くし、一

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

人ぼっちの境遇にしてしまふような女が少くありませぬ。つまり心が狹いからです、海のやうな廣い深い心をもつて、凡ての人を善人と信じ、凡ての人の行ひを善意に酌みとる心掛が肝心であります。

恐怖心は無暗にものをこわがる心です。さればとて闇の夜に夜道をせよといふのではありません。泥捧が來ても平氣で居よといふのでもありません。日常の出來事に對し、又友達同志の出來事に對し其ほどでないことまで、大迦裟に考へ、不安を喚び起し、ひとりで苦悶してゐるやうな女が少くありませぬ。正しい道の前には、恐ろしいことはないのですから、常に度胸をよくして物事に動ぜぬ心得が必要です

○習慣的の缺點

十分に女子を尊重し、女子の人格を認め、女子に學習及活動の機會を與へません今の世の中に生れました女子は、自然と次のようにわるく習慣づけられ、其がいつしか性質のようにさへなつて來ました。其の重なことは次の條々です。

一、眼のつけ所が狹く淺く、社會百般と沒交渉なること。

二、家の中にばかり居たがつて（引き込み思案て）外出を厭ひ、殊に修養向上に關する會などを嫌ふこと。

三、同情、慈善といふ方面に美點を有してゐると同時に、物事を理性に訴へ、冷靜に判斷するといふ方面に缺けてゐること。

四、控へ目はよいが、言はねばならぬことをも言はず、聞かねばならぬことをも聞かず、見るべきものをも見ないといふこと。

五、愛が姑息偏頗に流れ、身贔負が強くなり、大勢を愛するといふ心が乏しいこと。

六、社交に馴れない所から、團體的に活動することが下手で、協同心も乏しく、公共心も薄いこと。

七、「世間」とか「風俗習慣」とかを恐れたり、重く見すぎたりして、自分のよいと思つたことをも爲し得ず、古い「しきたり」や流行に引ずられて、生活の改善をし得ないこと。

八、科學の智識の乏しい所から迷信に囚はれ、非常識の行をなしたがること。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

九、家族制度の變革を知らず、家を重んじすぎたり、子供をたよりすぎたりして、失敗すること。

一〇、凡てが臺所的であるから、考が狹く、姑の機嫌をとる爲に、心にもないようなことのみいつたりしたりして、正當に自己を發表し、自己を透すといふ心に缺けてゐること。

是等についてはよく、自分を反省して、こういふ缺點に陷らぬように心せねばなりません。

○處女會のわる口

次に處女會について改良すべき點は、

一、婦人自身の會であるといふ精神が乏しいこと。

二、從つて凡てが他動的で、自守自立の精神が乏しい。

三、幹部と幹部との間の折り合がよくない地方のあること。

四、會合の出席のよくないこと。

五、衣裳品評會に流れ易いこと。

の條々であらうと思ひます。地方を巡廻しまして、第一に感ずることは、淋しい所にゆけばゆくほど、住民の質朴のことです、從つて娘はをとなしく、長者を敬ふの風があります。然し是からの娘は、只「をとなしい」だけではいけません。凡てがわかつて、そして從順でなければいけません。盲從は屈從です。自覺から來た服從を尙びます、田舍に參りますと、洋服着た人をみさへすれば、子供が禮をします。之を見て、「この地方は敎育が徹底してゐる」と褒める人もありますが、是は先生から「道で洋服着たエラさうな人が來たら挨拶しなさい」と言はれ其を子供が鵜呑みにしてゐるので、寧ろ私はをかしなことゝ思ひます。

其から地方の處女會員をみると、いかにもしとやかであるが、少しも愉快さうに話さぬ。會のことをきいても、互に顏見合せて讓り合つてゐてハッキリと言はぬ。是も改良すべき點と思ひます。其の爲の處女會ではありませぬか。昨年の本誌に是からの娘は大正新三猿主義即ち見猿、聞き猿、話し猿でなくてはならないとかきましたが、私は本年から一層このよく見、よく聞き、よく話す、新三猿主義を提唱しようと思ひます。結局、女の缺點は、從來の風俗習慣がよくなかつた爲に生じたのです。世間を廣く深く見、聞き、話すようになれば、考へも廣くなり、智識も進み、協同心も增します。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

一國富強の源

貴族院議員
法學博士　山脇玄

社會の進步と共に益々人間の生活狀態が、無駄のないやうに改められつゝあるのは、誠によろこぶべき事であります。然るに教育の方面を見ますと、まだ〱古い考へが殘つて居まして、誰も彼も高等學校（女子なれば高女校、女高師、專門學校、私立女醫專、私立女子大學）迄行かねば肩身狹く思ふやうであります。相應の資力のあるものなれば兎も角、資力のないもの迄が無理矢理に學問をしやうとするやり方は、決して譽むべき事でありません。

それよりも實業學校で滿足して、製造工業もしだいに盛んになり、多數の職工を要する我國の有樣を考へて、之を監督する技術者も、段々要するのですから、徒弟學校、技藝學校、農學校、水產學校のやうな、實質本位の學校に入學し、早く獨立獨步の出來る人を作るのが肝要であります。

無理算段して高等の教育をうけたとて、最初の收入は極めて少なく、物價騰貴の場合自分一身の生活さへも容易なことではありません。遂には生活の困難のために折角修得した技能も、進步發展すべき希望も中途で挫け、不幸不遇に了る羽目になり、個人としても國家としても、甚だ不經濟の事と云はねばなりません。

地方の人は是等の實用的な教育をうけて、殖林、漁業、田園の改良のために全力を盡し、農村の改善發展に努力すべきであります。斯くて自營の道を講ずると同時に、圖書館、講演會、活動寫眞等の社會教育をうけて、步一步と進步向上するやうにしましたなれば、農村の青年男女も、故鄕を嫌ひ都會に憧るゝ事もなく、各

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

地方獨特の産業は益々發展し、個人の爲延いては、社會國家の爲に益する所多いと思ひます。

私共は我國現今の農村生活に感動する場合が少くありません、然し乍ら彼等の缺點とも云ふべきは何等の計畫もなく、研究心もなく、只だ舊慣を追ふて祖先傳來の方法を繰り返すと云ふ事であります。近來多くの農會や農事試驗場等の刺戟を受けて、稍改良に注意する様になりましたが、未だ其成績は微々たるものであります。

此改良方法に就いて私共の眞似すべきは、丁抹農民の奮闘努力であります。元來丁抹と云ふ國は我國の北海道程の面積で、人口が二百五十萬程の小國でありますが、毎年バタ、鷄卵を英國へ輸出する貿易高は一億八千萬に達する有様で、鷄卵の如きは各地方に生産組合を作り、此處で産出した鷄卵を首都コペンハーゲンに集め、嚴しき檢査を受けて始めて輸出するのであります。そして腐敗した卵を見つけた時その生産者よりは二圓五十錢の科料をとるなど用意周到のやり方で組合の數が今や三千五百に達してゐます。

斯の如き歐米の農村状態に考へて、我國でも農村の子供に無理算段の高等教育を受けさせるより、其土地の産業に今少し力を入れ、其方面に導くやうに努力するが宜しいと思ひます。

左程の資産もない者が、自己の食費を節してまでも東京、大阪等の都會に於て高等教育を受けさせても、業を卒へた子弟は兎角田舍へ歸るのを嫌ひ或は小役人となり、會社員となり、商店員となつて、都會の惡風を見習ひ、遂に故郷を見棄るやうになり、地方は素養ある人物に缺乏して産業が衰へ、延いては國家衰亡の起因ともなります。實に容易ならぬ大問題でありますから、地方の人は餘程注意しなければなりません。

云ふまでもなく一國の富强は、其國の産業發達の如何によるもので、農業は工業に必要な原料を供給するのでありますから、何れが重く何れが輕いといふ事はなく、互ひに持ちつ持たれつして、眞に意義ある美し

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

い國家發展の實をあげなければなりません。

健全なる國家の榮えを眞に思はゞ、此點に充分の注意を拂ひ、農村の隆盛と工業の發達と相待つて、國力の充實に力めねばなりません、とりわけ瑞穗の國としての我國は米は缺くべからざる常食で、農業の盛衰は非常に影響を及ぼすものであります。

英國は年來工業に全力を傾けた結果、農村の青年は續々と都會の工業地に集つて、都會生活を營むやうになり、之が爲に農村は衰へるやうになりました。

それ故英國では今迄の方針を一變して、農産物の增收に努め、或る地方の如きは其地の富豪の住宅を新築して、農民に貸し、或は娛樂機關を設くる等、多少敎育ある青年男女がなるべく都會に出ずに、農業に從事するやうな方法を實行して農村の繁榮を圖つて居ます。

我國でも次第に世界の風潮に引かされて、都會の繁榮に反して、農村は一日一日と荒れて行く有樣で誠に嘆はしい事であります。故に充分反省して父兄や先輩が先に立つて農村をよろこび田園を樂しむ方法をとる事は、何よりも最先に考へなければならぬ事であります。

日本人の主な食物は米で、米は滋養に富んで、殊に白米よりも玄米の方が滋養に富んでゐます、昔は玄米を常食としてゐましたが、世が奢侈に流れ、外見の美を好むやうになつて、白米を用ひる事になりました米の滋養の大部分は糠にあつて、其割合は七と三の割合で、假に必要分を十とすれば、玄米には七分の滋養があるから、三分の副食物をとれば足りますが、白米は七分の副食物を要する譯で、其上白米とする迄に搗き減りがあつて、非常な損害であります。

唯に外見の美に囚はれて斯く多額の損害を、見す見す打ち捨てゝ置くのは愚の至りと云ふべきであります質實なる氣風を失はぬやう又、國家社會の富强のために、最先に努力すべき農村の人は、特に斯ういふ點に注意して、國家繁榮の中堅となつて頂き度いと思ひます。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

肉食よりも菜食

農科大學教授 農學博士　澤村眞

私の知人の西洋人は、自分が絶對に肉食をしないばかりでなく、自分の病院の患者に、一切肉食をさせないで療治をして居る醫者を知つて居ます、恁ういふ西洋人は他にも例が多いのであります。

今まで日本人が菜食をして居たから體格が小さくなつたと思ふのは大きな間違ひで、これは人種の差別から來たところの違ひであります。

又蛋白質の滋養價値が肉の方が野菜に勝つてゐるといふものは蛋白質が動物の組織に吸收されて肉となる働きの多少をいふのであります。

絶えず肉を作りかへて行かねば生きて居られませんけれど肉を作るには極々少しの蛋白質があればよろし

□西洋人でも肉を食べぬ人

肉食は滋養分が多く、今後日本人も西洋人のやうに肉食をしなければ、あのやうな立派な體格になれず、又丈夫にもなれないと思はれて居ました。殊に近頃になつては食物中の主な成分である蛋白質の滋養の効果が肉類の方が野菜に勝つて居るといふ研究成績が、屢々發表されますので、肉食の方が何となく菜食に勝つて居るやうに思はるゝ恐れがあります。然し乍らこんな事は充分調べて見ますと、菜食が決して肉食に劣らぬ事が明らかであります。

西洋人の中でも肉食をしない人もありまして、現に

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

いのであります。

その外の蛋白質は唯分解して人の生命をつなぐといふに過ぎません。そして野菜の蛋白質も全く肉を作る効がないのでなく、肉のものに劣るといふにすぎないから、野菜で生命のつなげない理屈は無論ありません

□一國の經濟の上からも

食物として肉は味が好いけれども惡い點を申しますと。

第一に　價が野菜より高い

第二に　腸に溜つて時とすると腐敗をして毒を作り中毒の恐れがあります。

第三に　肉が分解をする時に出來るものが、心臟や腎臟を刺戟して、その病氣を起すことがあります。老人は殊に腎臟が弱りかけて居ますから、老人に肉食は不適當であります。

肉食は以上のやうな害がありますが、菜食には風味こそ、肉食に劣つて居てもそんな害もなく、憂ひもありません。

其の好い點をあげれば

第一に非常に價が安い。

第二に便通をよくします。そして腸に滯ることがなく中毒などの恐れがありません。

以上の利益の外に一國の經濟から申しても、肉食に比べると同じ面積の土地から食品の生産高を多く出す事が出來ます。

例へば米を作るのと、草を作つて牛を養ふて肉をとるのとは、其の食料としての生産高は米を食ふ場合の方が三四倍も多く得る事が出來ます。

とりわけ日本のやうに、土地がせまく、その割合に人口の多い國では、西洋人のやうに、肉食をすると、ます／＼食料が缺乏すると思はれます。

要するに、菜食は健康に有益であると同時に一國の食料經濟の上からも甚だ有利な事でありますから、なるべく菜食の習慣を保つやうにしなくてはなりません。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

孝行は何時よりなすべきかといふ問に答へて

山脇高等女學校長
本會理事　山脇房子

◎産みの苦しみ育ての悩み

世の中に思ひはあれど子を戀ふる
思ひにまさる思ひなきかな

子のためには身を捨て、我を殺してまでもといふ絶體的無我の愛に、子を育て行く親の恩の貴さを僅か三十一文字に現はした、この有難き名句を思ふにつけても、産みの苦しみ、育ての悩みに、筆舌を以て盡し難き犧牲を拂つて、暖き慈悲の懐に抱きしめて育くまるゝ父母の恩がしみ〴〵と味はれます。

父の情、母の愛は廣大無邊のものでありますが、その恩澤のあまりに廣く大きくて、私共を抱きしめる、愛の懐の大きさに惑ふて、その恩情に氣づかずに過す人が多うございます。それは丁度人類を初め宇宙間の生物にとつてなくてならぬ太陽の恵み、水の有難さ、空氣の恩は、生きて行く上にも、働くためにも缺くべからざる、重大の寶であつて、萬一私共が太陽の熱と光りを不意に失ひ、假に又、何時もなくてならぬ空氣と水を全世界から奪はれたら、容易ならぬ難儀と知り乍らも、その廣大無限の恩澤に慣れてしまふのと同じであります。

失ふて後に初めて知るその恵みを戀ひ慕ひ、亡きもののあとを追ふて、戀々と嘆き悲しむのは、人間の常で人情の弱さは此處にあります。

◎其時即刻より

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

「木靜まらんと欲すれど風止まず
子養はんと欲すれど親またず」

世にある人の大方は、誰しも一度は、恁うした、痛嘆を見るものでありまして、父母の存命中は徒らにその情に甘へて過しながら、父母を失ふて初めてあゝもすればよかつたかうもすればよかつたと後になつて初めて氣づき、心を苦しめ終生去り難き悔を殘すものが多うございます。

何時になつたら親孝行をしやう、自分がかうした地位になり得たら親に御恩が返へさるゝと、的もなき遠い將來の事をばかり考へて、其日其日を無意味に過して行く中に、日に月に老衰して行く父母を省る事もなくて、父母を失ふて、俄かに夢より醒めたやうに、驚き惑ひ、癒え難い心の惱みを殘すといふ事は何といふ愚かしい事でありませう。萬物の上に立つべき人間としては誠に恥づかしい事ではありませんか。

孝は百行の基とは、千古不滅の金言でありまして、親を捨て親を苦しめて、どうして立派な仕事が出來ませう。

全身の血より肉より漲り出る愛を以て、自分を眺め自分に接する父母にすら、滿足を與へ得ぬ人物が、まして幾億萬の人の生存競爭の烈しい中に立つて、立派な仕事をなし遂げ得やうとは思はれません。親をよろこばせ親を慰めるといふ事は、人として最も貴い事で其中から眞に意義ある美しい社會事業も、百般の善事功德も生るゝのであります。

故に眞實に世のため人のために盡し、社會の一員として、立派な仕事をせんとする人は、何時になつてから親孝行をしやう、あの事業に着手してから如何いふ地位になつたら父母を大切にしやうと將來に於ける期間を定めず孝行の德の貴さを感じ、其時即刻より孝行をなすべきであると思ひます。

とりわけ都に憧るゝ地方の乙女たちは、この事を考へて、父母居ます間に孝養を怠らぬやうに務めて、子養はんと欲すれど親またずといふやうな悔のないやうにして頂き度いと思ひます。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

印度の兄弟たちと桃太郎さん

天野藤男

（一）

矢島楫子女史を會長とする赤坂新町の婦人矯風會から次のやうなお案内状が來ました。

……毎年本會は學生の御招待會を致します。其は専門學校の學生たちで正月になつても歸省遊ばさない學生の方を百餘人程御招待して無邪氣に御一所に遊ぶのでございます。どうぞ本年は是非御仲間入りして下さいませ。

時日　一月五日（水）　午後四時

こういふ御案内をいたゞきましたので、全體どういふことをなさるのかと、當日妻と共に新町の婦人矯風會の本部に參りますと、「どうぞこちらへ」と五十疊敷位の日本間の大廣間に案内されました。先づ矢島女史に新年のお挨拶を致しますと、「よく來て下すつた」と喜んで下さる。女史は本年八十二歳におなりですが、眼鏡もかけず、そのお達者のこと驚くほどで、昨年は、はる／″＼英吉利の萬國婦人矯風會大會へ參列せられ、數十ヶ所で御講演もなさいました。

ふと片隅を見ますと、火鉢を圍んで妙な頭をした五六人の學生が話し合つてゐます。横顔を見るとまつ黒い。印度人だなと思ひました。その中時間が經つに從つて續々と入つて來ます學生をみると、朝鮮の人もゐれば、英吉利人もゐます。臺灣らしい特徴をもつた人もゐます、男も女も入り交つて彼是五六十人以上になりました。

（二）電信がムニャ／＼

「お正月でも故里に歸ることの出來ない學生」と招待状にありましたが、なるほど印度や英吉利では歸れまいと思ひました。「先生私は始めて伺ひましたが、なか／＼いろ／＼の方が見えるのですね」と矢島女史に申しますと。

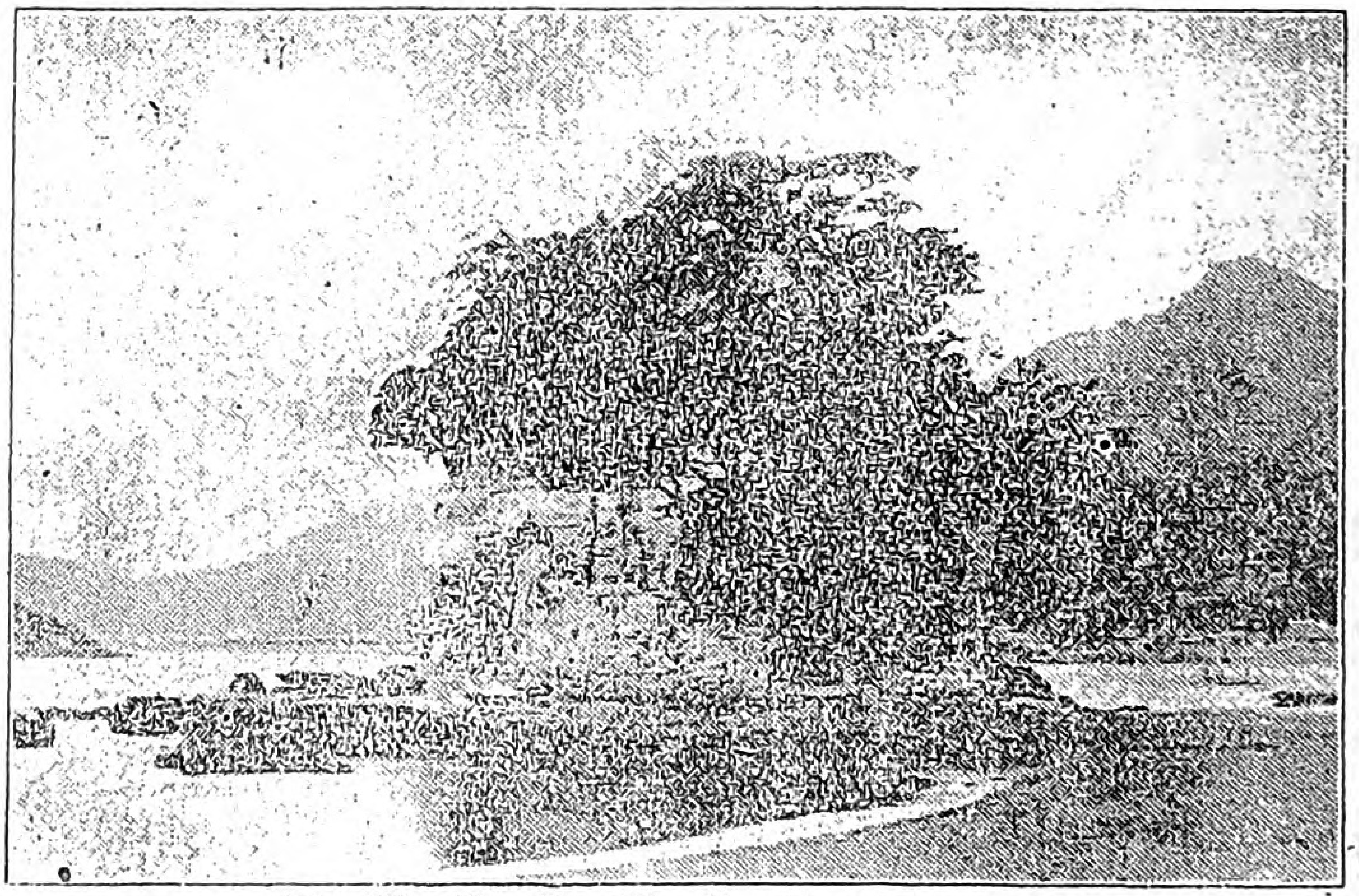
「さうです、毎年新年會をするのですがもつと大勢およびしたいんですがいろ／＼の事情で出來ませんが、其でも大變喜ばれますよ」

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

とニコ〳〵して仰言る。

その中ガンドレットつね子夫人が來られました。矯風會の幹事で本日の主人役です。つね子夫人はガンドレットといふ英吉利人を良人にもたれ、年頃の娘さんを二人もつてゐらつしやるのです。御主人も見えましたが、大變愉快な方で、夫妻して飛んだり跳ねたりしてゐられます。その中一同揃ひました。幹事の方に伺ひますと、本日來られた方は、英、米、支那、朝鮮、台灣、フヰリッピン、ペルシャ、印度の學生百十一人であるとのことです。方々の會に出たことがありますが、こんなに各國の人たちと一所になつたことは生れて始めてゞした。

開會も何もなくすぐ餘興にかゝりました。一同車座になつて始めたのが電信あそびです。一人が發信局になつて耳うちしながら電信を通じると、となりの人はその通りをとなりに通じます。そして順々に傳へて發信人の所へ來たときに、果して其が正しく通じてゐるかを試めすのです。第一回が發信されました。何か笑ひながら耳打ちしてゐます。私のとなりは、ガンドレットさんです。その中かゝつて來ました。「あなたの旦那はどこにゐますか」といふ電信です。妙だなと思ひましたが、その通りとなりの印度人に傳へますと、印度人はまたその通りとなりに傳へます。



伊豆下田名所姉崎辨天

一廻りしましたが、さて元の發信人の所へかゝつて來た電報は何んでしたらうといふに、驚いてはいけません。「ムニャ〳〵」是には一同お腹をかゝへて笑ひました。發信人にきゝますと、「今日は盛會で何寄です」といふのだつたさうです。七八ヶ國の電信局を經由する中に、ムニャ〳〵となつてしまつたのです。

（三）お盆廻し

其の次はお盆廻し、印度人も朝鮮人も日本人も、男も女も無我夢中でお盆廻し。其がすむと、「お錢のあて比べ」、五十錢銀貨を順にとなりへ〳〵と廻す、鬼が今誰の所にあるか言ひあてるのですが、みんな桃から生れた桃太郎や、モシ〳〵龜よを歌ひながら廻します。フヰリ

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

ツピン人や、印度人も妙な聲でモシ〱龜よをやります。私の横に來たのは、ペルシャ人ですが、其は無邪氣の人で、「あんたしつかりなさいよ」などゝ申します

こんな遊戯をしてゐます中、下で食堂の準備が出來ましたので一同下りますと、酒抜きの山海の御馳走がありました。矢島女史のお祈りで一同お箸をとりましたが、お蕎麥も出れば、ごはんも出る。洋食も、朝鮮料理もいろ〱出ましたが、いかにも結構でした。

私の横に腰かけましたのは、印度人と、朝鮮人でした。前は支那人です。「あなたどこ」とき〻ますと、印度人は、「私しこゝにゐますよ」と名刺へ書いてくれます。私も名刺をあげますと、大變喜ばれ、

「私の家へお出でなさい、印度の齒がありますよ、ね」など、深切に申します。私の妻に向つても、「あなたおいくつ?」などゝきゝます。「あててごらんなさい」と申しますと、「十八?十九?あたりませんか」れなどゝ無邪氣なものです。左樣年は三十二三歳位でした。妻が「印度は顔の黒いほど、美人ださうですね」とき〻ますと、「いゝえ、いえ」と手を振つて、「印度でも白い方がいゝんですよ」

この印度人は、オグリ、ゲコンといふ方で、私の手帳に、イマドチヨウ二二と片假名でかいてくれましたが尋常一年生のかいた樣な字でした。

(四) 人情は世界共通

再び二階に上つて今度は加留多をとりましたが、朝鮮人も支那人もみんなしてとります、トランプも出ました。段々餘興がはずんで、手品も出る、講談も出る子守唄も出る。ダンスも出る。つね子さんの令孃の獨唱も出る。それは〱賑やかです。

その中時計が九時を示しましたが、懇談に移り、各國を代表して一人づゝ感謝の辭がありました。その後福引が出ました、お大根を曳いて困つてゐる學生もあれば、口紅をひいて笑つてゐる人もあります。私は平和の使といふ題で、鳩の細工物を、妻はクリームを引きました。私は紀念にゑはがき一枚づゝ一同にお送り致しました。

九時半閉會して、各國の學生は、西に東に袂を分ちましたが、こんな愉快な新年會は始めてでした。

みなさん、いつも申すことですが、四海同胞の世の中です、日本人は固より、支那も印度も、朝鮮も、言葉こそ變れ、顔こそ異れ、人情の美しさはひとつ、黑人の血も、白人の血も赤いのです。可笑しい時には笑ひ、悲しい時には泣きます。

四方の海みな同胞です。是から仲よくし合ふことが人の道です、戰爭はもうありません、先年の大戰爭は戰爭のしじまひです。私たちは、まづ一家を平和にし

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

一町村を平和にし、一國を平和にし最後に世界を天國の様な天地とすることの爲に汗を流し、涙を流さねばいけません。同胞相愛！、この精神です。詮じつめると、愛です、人々が愛し合ひ、信じ合つて兄妹のように暮らすことの出來る社會をつくりたいものです。

(五) 私たち一人の身體には

四海同胞と申しますが、ほんとうに私たちは世界中の誰とでも兄弟であるのです。その證據には、先づ私たちには、二人の父母があります。父母なくして生れた子供はありません、その父と母とに又父と母とあります、つまり私たちには四人の祖父母がある譯です。その祖父母に又二人宛の父母がありますので、つまり私たち一人の身體には、八人の御先祖の血が流れてゐる譯です。こうして順に數へてみますと、二代目には十六人、四代目には三十二人、七代目には百二十八人十代目には一千二十四人、二十代目には十二萬六千九百七十六人、三十代目には千五百七十四萬、五千二十四人、四十代目には十九億五千六百二十八萬二千九百七十六人の先祖の血が私共一人に流れてゐることになります。四十代目にはまづ一千年です、日本の邦は開闢二千五百年以上になります、世界中の人口はざつと廿億、してみると、一千年經つと我たちの身體には世界中の人口以上の人の血が流れてゐる道理です。尤も血族結婚もありますので、この通りにも參りませぬが兎に角こういふ譯ですから、遠い昔に遡つてみると、私たちと皆さんとは、ほんとうに血族關係を結んでゐるかも知れません。「私の家には親類がない、一人ぼつちだ」などゝ考へるのは、狹い考です。凡ての人が兄妹であり姉弟であるのです。ほんとうの他人といふものはない筈です。他人と言へば、夫婦はもと他人ではありませんか。其が二生の緣とかいつて親子より親しくなるではありませんか。

明治天皇の御歌が又しても胸に浮びます。

　四方の海みな同胞と思ふ世に
　　など波風の立ちさわぐらむ。

地方處女會は、親しい姉妹がより集つて尙親しくなり合ふ會なのです。そして、その優しい温い心を青年にも、軍人にも凡ての人たちに傳へて、世の中の人を、みんな女子のような温いゝ氣持の人にせねばなりません、此に女の大なる使命があります。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

腹合せ帯の縫方

大妻技藝女學校長
本會評議員　大妻コタカ

□地質の注意

帯の急所は表と裏と心の引合にありますから、縫ふ前にこれ等の地質に就いて、充分に考へ、研究する事が最大切であります。第一に心の準備をいたします。心は地質は何でもよろしいのですが、耳のつりと、ゆるみに注意して、耳がつつて居れば其巾が工合よくなるだけに耳を裁ち切り、巾を整へます。

耳がたるんで居る場合は、中央の平らな部分だけに新聞を載せると、たるんで居る部分が兩端に出ますからそれに霧を充分ふいて、そのまゝにして置けば縮みます。

もしたるみがよくならぬ時はもう一回今と同じやうにして霧をふき、強い火のしか、あいろんを上にのせるやうにして壓へてかけます。

普通の心としての手當は、全體に霧を充分ふいて、霧が一面に濕めるやうに、十分か二十分そのまゝに捨てゝ置きます。

次には表になる布の地のしです。座ぶとんか毛布の上に布をのばして一尺位づゝ竪と横とに火のしをかけ、棒にまき乍らかけて行きます。そう致しますと小皺が伸びるばかりでなく、縮むべきものは縮み、仕立上げたまゝに恰好がくづれません。物によつては地質がひどく縮んだりたるんだりして、地のしの不充分なために、しめて居る間に形がくづれます。それゆゑ人工を以て縫はない前によく地質を整へ、くづれないやうにする事が必要であります。

この地のしをいたしますと一尺に就いて

錦紗は　三分
羽二重は　一分
博多織は　一分

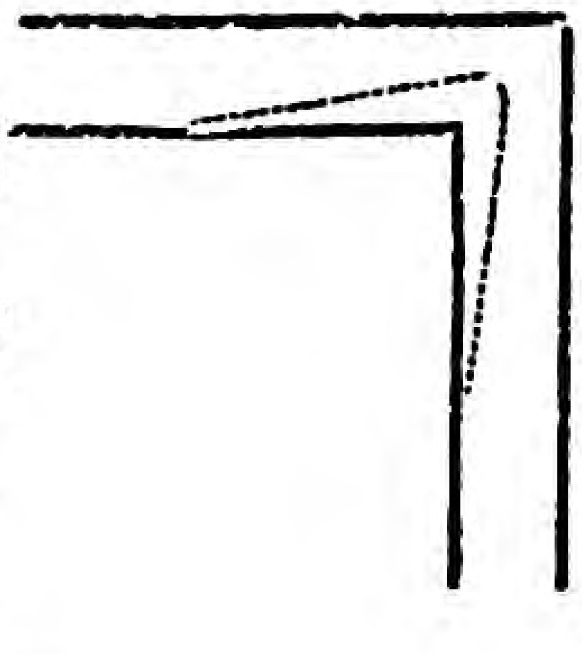
Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

の縮みが出ます。

□縫合せに就いての注意

表と裏の兩布とも地のしが出來ましたなれば、心に火のしをかけ、それから厚いものと薄いものでありますなれば厚いものを下に、薄いものを上に致しまして、引張らぬやうにして、まわりを躾で止めます。

全體に巾の標をしてから、地質の薄い方を前に持つて縫ひ初めます。帶の角の處は五分の間に圖の如く五分の間で一分斜に外に縫ひ出します



として、角と角より五寸迄の間を半返し縫ひにして、外は強く引張つて、縫ひ、中央に來た時に片方だけ帶の巾だけ明けて置きます。

全部縫ひ終りましたなれば、裏からと表からと鏝を強くあて、折きせて三厘ぐらひにしてかたい方に折り角は前一分の縫出しと三厘のきせで一分三厘の折込になります。それを兩方からとぢて角をきちんと作ります。

心は出來上り巾と同じ巾に作つて心を帶の上にのせ、心の方をたるみ加減にして、まわりをとぢつけます、(凡そ二尺に一分位のたるみ)

全部とぢつけた後、外表に返して前に明けた部分をきちんと躾で止めて、縫ふやうに細かくくけて行きます。

それから四方に躾をかけ、あいろん、若くは火のしをかけて、板と板との間に狭み一人で動かされぬ程の強い重さで、二日間位置きます。初めの壓が輕いと早く、くづれますから、少しでも重くしなければなりません。

疊み方は普通七つ折か八つ折の定めですが、實際は少しても長いやうに折つて、壓をする方が結んだ時に壓の跡が見えません。簞笥にしまふ時でも、出來るだけ長くして、折形の少ないやうにする方がよろしうございます。

帶の角に飾り躾をかける事は實際からいふと、よくない事で、躾をかけなくとも、着くづれのしないやうな手際にならなくてはなりません。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

お氣づきでせうか

▽里芋のゆで汁を捨てぬやう

里芋をゆでますと、どろ〳〵になつた汁が出來ます、これは大方のお家で捨てゝしまひますが、これは張物に用ひますと立派な糊になります

▽うどんのゆで汁も同じく

又うどんの茹て汁の温い中に髪を洗ふとよく垢が落ちて重寶です。

▽マッチ箱の箪笥

マッチの箱を、丹精してしまつて置いて十か二十か溜つた時に程よく積み重ねて、上下左右後に手際よく紙を貼り、前の方だけ殘して、それに一つ一つ紐をつけて置きますと、丁度玩具の箪笥のやうなものが出來上ります。これに針、楊子、絲、ボタン、コハゼ、切手、のやうな細いものを、入れるときちんとさまりがついて、重寶なものであります。

▽子供の體温

大人の體温は普通丈夫な者であれば、三十六度位ですが、子供は本人よりも少し高いもので、三十七度以上のものであります。體温は其人の健康狀態を最も明らかに示すものですから、子供などは始終心がけて、體温の檢査をしなければなりません

體温を計るには、先づ腋下の汗をよく拭いて乾かせた後、檢温器を挿み十分間ばかり靜かにして、温度を檢べます。

▽蚯蚓の効用

蚯蚓は何處の山里、野の果てにも多く見らるゝものでありますが、この蚯蚓も善用すれば誠に重寶なもので、風邪の際に熱を去る妙薬となります。その方法は蚯蚓十五六匹水一合と共に土瓶に入れて、七八勺に煎じつめて用ゐます。冷えると嫌な臭ひがしますから温い中に飲む方がよいのであります。

▽落し飯の利用

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

釜やおはちの落し飯は（食べられぬとき）淺漬けの中に入れると香物の味がよくなります。

▽肉類よりも蒟蒻

人間の體に最も必要な滋養分は蛋白質で、蛋白質は私共が活動する上に食物の中から最も多くとらなければならない營養分であります。この蛋白質は、どんな食物の中に一番多く含まれて居るかと申しますと、高價な食品ばかりでなく、極く安いものでも、多くの蛋白質を含んで居るものが多うございます。これを割合にして比較して見ますと

鰹	七割五分	乾鯡	六割五分
棒鱈	六割五分	スルメ	六割五分
大豆	二割	蒟蒻	一割七分
牛肉	一割四分	鷄肉	一割四分

最も價の高い牛肉、鷄肉よりも安い蒟蒻に多くの滋養分を含んで居るとは、何と面白い比較ではありませんか。

▽井戸端會議の恐ろしさ

一つの井戸流しに多勢の人が集つて、米を磨ぐものもあり、洗濯をするものもあり、釜をみがく者もありさうして半日以上もそこに集つて、近所や隣の噂さで無中になつてゐる間に、不潔な水はどし〱井戸に流れ込みます。井戸端會議は時間の不經濟なばかりでなく、不注意のために清潔でなければならぬ井戸に不潔物が、流れ込み傳染病の媒介ともなる恐ろしいものです。

▽傘の骨の利用

古くなつて用をなさぬ傘の骨を捨てずに、すつかりほぐして、よく削つて先を尖らせますと、魚串が出來ます。又竹釘にする事も出來ます。

▽卵の殼でお藥

皮膚のきめの惡い人、あれ性の人は、卵の殼を捨てずに、少しの水でその殼を洗ひますと、白い水が出ますから、それを瓶に入れて白砂糖を少し溶きませて、ぬつてごらんなさい必ず効力があります。

○春雨にたき出したり土筆坊
○大原や蝶も出て舞ふおぼろ月

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

日本は火山國

淺間山は舊冬より屢々破裂しました。殊に今年一月廿四日には、大爆發をして、その震動絶え間なく數百丈の黑煙は空を掩ふて、火柱高く百丈に及び、盛んに火の雨を降らせました。

淺間山は我國で最も有名な火山で、光格天皇の天明三年には、大噴火をして世人を驚かせ其後も屢々爆發してゐます。

火山の原因は地球内部の高温度で燃えて居る、地熱によつて起る變動で、熔岩、又は灰、砂等が水蒸氣など丶共に地殼の隙をねらつて、噴出するものであります。

私共が使用するカル石は實に火山の噴出する熔岩の凝まつたものであります。又火口から昇る煙のやうなものは水蒸氣であります。

熔岩の粉のやうな細かく碎けたものは、時としては意外に遠くまで飛ぶ事がありまして、今年一月廿四日の淺間山噴火の際にも、埼玉縣方面より茨城縣にも降灰の樣子見え、西暦千八百八十三年マライ群島のクラカタウ島の大噴火の時には、地球の大部分に灰を降らせて、日本でも數日の間太陽の光が銅色に變つたと申します。

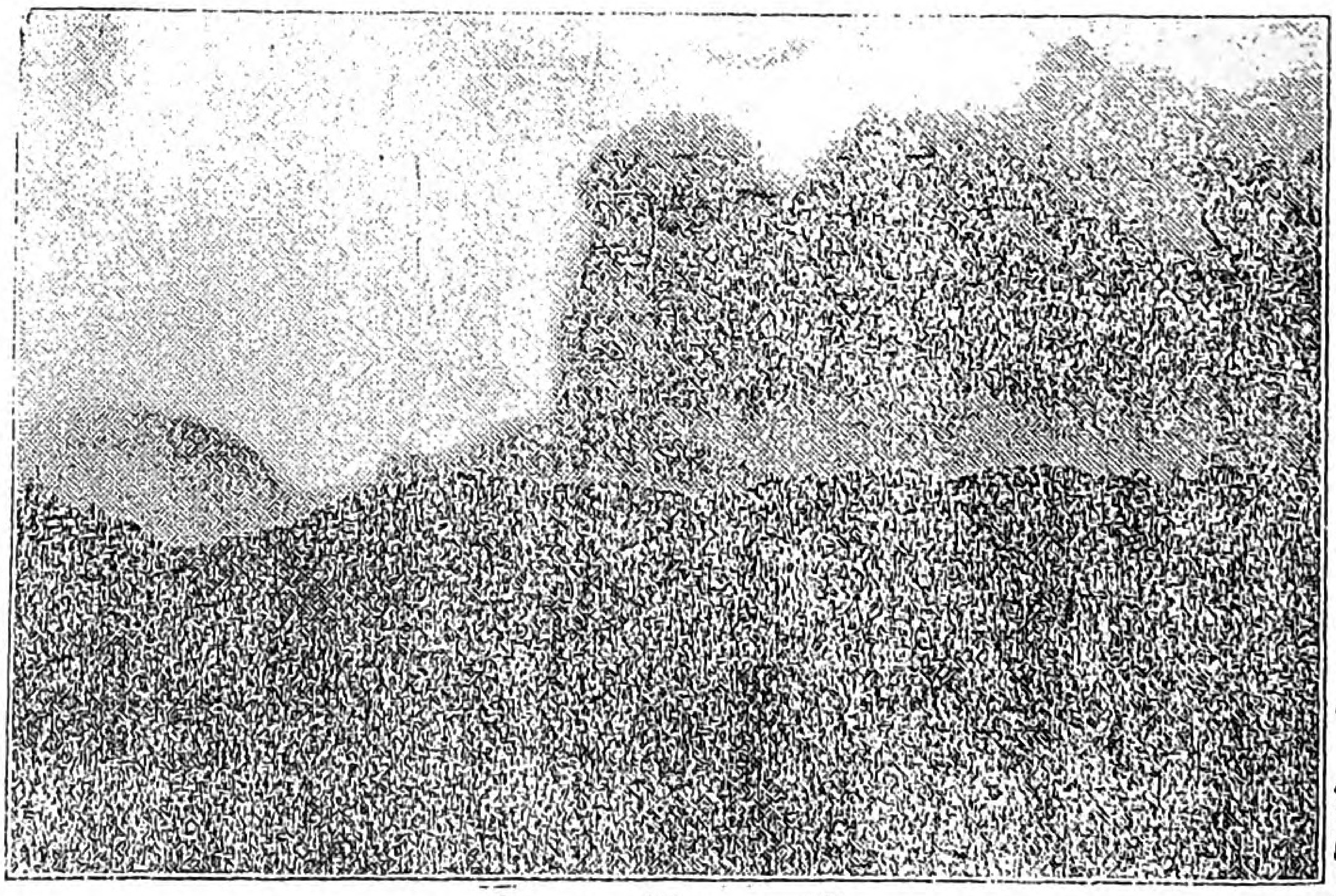
世界で一番火山の多い國はイタリーと日本でありまして、シシリー島にあるエトナ火山の如きは、盛んに噴火して、その火柱は歐洲と亞細亞を航海する諸船のために燈臺の代りとなつて居ます。

前にも申した通り、火山は地殼の弱い處につけ込んで噴出するものですから、線狀に並んで、火山脈をなして居ります。

我が日本では縱に伸びた千島、那須、阿蘇、霧島などの火山脈と、これを横切つた富士火山脈とがありま

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

す。
富士山のやうに今噴火して居ないものを死火山といひ淺間山のやうに今に噴火しつゝあるものを活火山と申します。
火山はその噴火する灰や熔岩が積るために、麓の方になるにつれて、しだいに斜になり、裾野といふ平野が出來るもので、一般に山の形が美しいものであります。
「白扇倒にかゝる東海の天」と世界に誇る日本の名山富士山は昔火山であつたいふ好い例であります。
火山と云へば必ず温泉が思ひ出されます。温泉は地中にある水が、地熱のために暑くなつて、地上に湧き出るもので、温泉の中には種々の鑛物質が、溶け込んで大部分藥となるものであります。
リウマチスとか皮膚病とか樣々の病氣によつてその



淺間山

効果の見ゆるのと効果のないのとあるのは、其温泉に含んで居る鑛物質の性分によるのであります。
温泉には又一定の時をきめて噴出するものがあります。これを間歇温泉といつて、我國でも伊豆の熱海にその例がありまして、その湯が噴き出る時には浴客が皆集つて待つてゐますと、時刻に間違ひなく湯の瀧となつて噴き出ます。」
アメリカ合衆國にもイスランド島といふ所に有名な間歇温泉があります。それはイエローストンといふ大きな公園の中にありましてその湯の柱が數十米の高さとなつて、噴き出るさうです。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

金網と五德の身上話

三月といつてもまだ〳〵寒い山おろしが藁屋の軒をかすめて來る、夜ふけの事であります。

今まで焚火をして居た、お爺さんもお婆さんも、次の間に寢んでしまつて、靜かな淋しい家に、五德がぽつねんと火の氣のない圍爐裡を守つてゐました。

眞闇な土間の上の荒神樣には、今にも消えさうになつた燈明の弱い光りが、土間にある引臼や、竈を照してゐます。

「もし〳〵五德さん」

と聲をかけたのは、煤けた自在鍵にかゝつて居る大きな鍋であります。

「おゝお鍋さんずいぶん寒いぢやありませんか都は梅も匂ふ春三月といふのに山國の一軒家の寒さはまあどうでせう」

「全くですわ、お互ひに恁した雪國の山奥に、貧乏世帶の勝手元に働かなければならぬとは情ない話ぢやありませんか、私のこの姿をごらんなさい、底の方は近頃殆んど洗つてもらへないので煤けてしまつて、こんな見苦しいものになつて、物の煮えるのも時間がかゝります。尤も私があまり磨かれてきら〳〵と光るやうになつては、反つて火の力を反射して、熱の力をうける事が出來ませんが、あまり此處のお嫗さんが無性ですので、私は底は煤けてしまふし、中は鐵氣で赤くなつて、これでは充分に働く事も出來ません。漸次に壽命が縮まるばかりで折角この世に生れた甲斐がありません、私は口惜しくて」

腹立たしげに云ふ鍋の聲を聞いて五德も點頭き。

「そうです貴女が仰有る通り、同じ此世に出るなら綺麗づきの奥樣の手元で、いつも美しく磨かれて、少しでも永くこの世のために働き度いといふのが、私共の望みです。私だつて最初生れ故鄉の、朝鮮載寧鐵山を出る時には立派な鐵材となつて、末永く世の爲に働き金屬として何よりも重寶がらるゝ、鐵の誇を見せてやらうといふ意義込みでありましたのに、私が門司の港に着くとすぐに八

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

幡の製鐵所に送られて、眞黒な職工がウヨ〳〵して働いて居る製鐵所の中にトロッコで運ばれ、恐ろしい多くの機械の音の中に永い日を暮し、選鑛場の機械にかけられて仲間はちり〴〵になつて悲しい目痛い目のありたけをつくし、製錬場では熔鑛爐の中で眞赤に燃ゆる地獄の苦熱ほんとに情ない事辛い事お話になりません。さうした水ぜめ火ぜめも、自分の出世のためと思へば、決して厭ひませんが、もう少しで立派な鐵工細工になる所を、その切はしになつて、友の出世を見す見す自分だけ廢物となつて、小さい鍛冶屋に廻されて、またも水ぜめ火ぜめ二度の苦しみに、果はこんな姿になつて、この家に買はれて來ました。この家に來てからも二十年、若い盛りの夫婦も今はあの通りお爺さんお媼さんになつてしまつて、此頃では私を見返つてもくれず、圍爐裡の灰は何年も篩はないので、足のまわりには灰が固まつて動く事も出來ません。」

半ば捨鉢になつた五德が腹立まぎれに圍爐裡の灰を跳ね上げやうとした時、バタリと圍爐裡に落ちたのは金網でした。何時張りかへられたとも知れぬ破れ障子の、つぎ張り、切り張りのさま〴〵に色どられた、其上の鴨居にかゝつた金網は、煤と焦げついた餅や魚で汚れ身體を其まゝに、五德と鍋の話に聞入つて、思はず飛び込んだのであります。

「おゝ金網さん」

といふと同時に

「まあ聞いて下さい私にも話があります。私はこれでも生れは米國ですはる〴〵日本に渡つて來て、日本人の手で金網につくられて、多くの仲間と共に町の金物屋に並べられて居ましたが、此處のお爺さんに買はれたのが去年の一月末、丁度田舍の舊正月の前でした。よぼ〳〵したお媼さんの手に渡つてからは、一度も洗つてもらへず、おまけに鹽鮭でもサンマでも、手當り次第に私の上に載せらるゝので、私はます〳〵汚れて、臭くなり銹びが出て、處々にはいたんだ處が出來て、穴だらけの見苦しい姿となつてしまひました。餅燒なら餅だけ、魚燒なら魚だけと一つ事だけをきまりよくさせてもらつて、其度毎に綺麗に洗つて頂いたら私もよほど勤めが樂で、長生する事が出來ませうに、この汚い姿のまゝに、一日一日と壽命は縮まつて行き

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

ます。
思へば情けない事です。けれども私は一方に自分の役目を果すためには、少しの愚痴も云はれないと悟つて、此家のお爺さんお媼さんを慰めやうと思ふやうになりました。この貧しいお爺さんお媼さんには何の慰もない、さうして一日野良で働いて歸つて鹽鮭でも燒いて、お茶づけ食べて、腹を充たすより外に慰めがないのです。それを思ふと私は餅はもとより、鹽鮭もサンマも、時には野良行きの辨當の握り飯も燒いて、年老つて節くれた腕で一生懸命に働くお爺さんお媼さんの精力を増すために役に立つ私は何といふ幸福だらうと、自分の貴い任務を思ふては本當にうれしくてなりません」

感心な金網の聲に此家の生拔、最古參の茶釜がのそりのそりと歩いて來て五德の前に座つて一同を見渡し「金網さんようこそ氣がつきました、天の神樣は私共にそれ〴〵何かしなければならぬ仕事を授けて下さいまして、その役目を果すために、私共はこの世に出て來たのです、五德には五德の務めがあり、金網には金網の仕事があります。その間から自分は働いてゐる、自分は國家のために役に立つて居るといふ、誇りもあれば喜びもあるのです。怎ういふ年老つたお媼さんに使はれるのも一種の不幸でせう、けれども若しお媼さんの手入が行屆かなかつた爲に、私共が生命短かく早く不用物となつてもそのためにこれからの若い娘さんたちが、私たちの仲間を大切にして、家具は手入一つて永く使用出來るものであると氣付かるゝやうになれば私共は貴い犧牲であります、もう先の短いお媼さんを充分に慰めて、皆て仲よく此家のお爺さんお媼さんのために盡さうではありませんか」

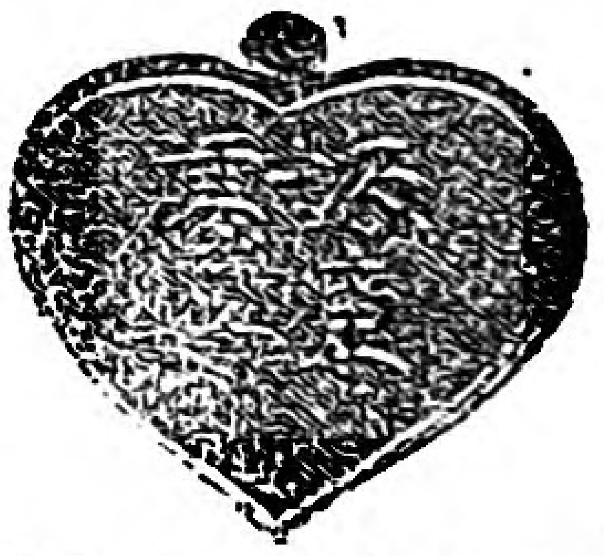
茶釜の話がすんだ時さびた火箸も、古びた鐵瓶も集まつて來て、仲間に入り、今から力を協せてお爺さんお媼さんの爲に働かうと決心しました。隣り室ではお爺さんとお媼さんの寢息が靜かに家中に響いてゐます。

◎車の上から……上麻生(岐阜縣)

村から車に乘つて歸りますとき、フトある農家の門をみますと、處女會員何某といふ門標を見つけました。たいへんなつかしくなりました。

(あまの)

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN



坂ノ東處女會員章

處女會めぐり

―岐阜縣武儀郡內の―

天野生

（一）ふるさとの一夜

清子どの――。

四時ごろ無事到着しました。父も母も至つて御丈夫、武夫も元氣よく大安心しました。都の宿はまだ堅いのに、ふるさとの庭の梅は、南枝兩三輪東風に綻びつゝ香りを放つて仲よしの黃鳥を待つてゐます。父上御丹精のいろ〳〵の水仙の美しいこと、小包で送れるならばなど思ひますよ。

ゆふ子もよく働いてくれます。この間の半襟、大へん氣に入つたさうで、「お歸りになつたら奧さんによろしく」と繰り返していつたよ。舊正月で暇を取るんださうで、母上も淋しがつてゐます。けれどお嫁にゆくといふので、お目出度い。お湯に入りながらゆふ子の村の處女會の話しなどしました。ゆふ子は處女會員だよ。

ゆふべは、お汁粉など食べながら夜更けまで、母とも語りました、いつになつても、親はいゝ。

「食べても食べてもあきないものは、米のまんまに親のすね」と誰やらがいつたがほんとうだね。處女會の指導者も、ふるさとの親の前ではほんとうに赤ちゃん甘へられる丈夫の親をもつてゐるうれしさ。お互に働かねばいけない。

晩みね子が隣り村へ嫁入するといふので顏見せに來た。あんたは知るまいが、ツイ家の二三軒隣りで家の小作をしてゐる農家の二女です。この間まで大きなおへそを出しては、指を啣へて遊んでゐたと思つてゐたのに、もう花嫁！女の子は早いものね。お互に自分の年は忘れて、、、、。

車が來た、さあ支度しよう。一週間、淋しいかも知れないが留守して下さい。事務所へもちよい〳〵顏を出すようにね。

（二）關町矢島屋まで

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

ふるさとに一夜を明かしてその翌くる日（一月十二日）の十時の神戸ゆきの汽車に乘つた私は、五時三十分に岐阜驛につき、其から電車で一時間あまり、七時ごろ關町に到着、矢島屋に休憩此で一泊した。電車の中で、二三人の尼僧にあつた。始めは、男性だと見ましたが、聲が優しいとよくみつめますと、女でした。娘盛りの年ごろを、髪を剃り、墨染の衣に身を固めて、寒夜の托鉢姿のいぢらしさ。何れ小説のような數奇な運命の持ち主であらうと考へると、何とも言へない氣持になつた。

「えらう今夜は暗うなつた、學林で心配してゐるでせうよ」

「何時やらう」

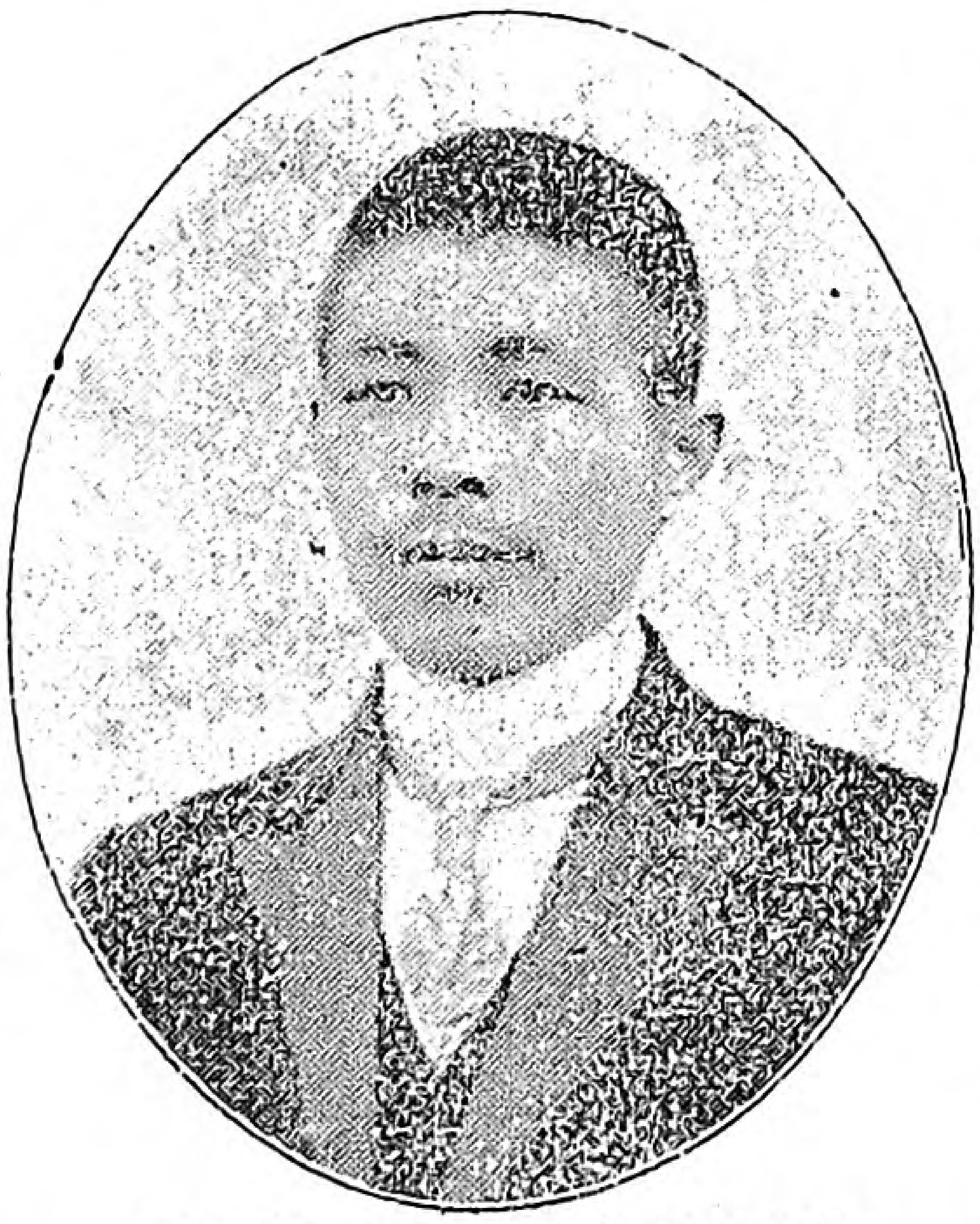
などゝひそ〳〵と話し合つてゐた。

矢島屋は同町第一の旅館で此處の奥さんは、婦人會の幹事をしてゐる歸り途に此處でもお話しすることになつてゐる、旅館の細君が婦人會の幹事ほんとうにいゝことだと思つた。

寒いので、夜具の中に番床（アンカ）を入れて寢るのが此處の風俗だといふ。いかにも東京より寒い。近藤校長が訪問されて、禁酒談に花を咲かせた。

（三）坂の東村（武儀郡）まで

郡役所から丹羽さんが見えられる。自働車（乗合）の支度が出來たので乘る。この自動車は飛彈の高山まで通じてゐるさうである。山を越へ、谷を渡り、田圃道を突破して、面白いようだ。途中荷馬車と擦れちがふので、時間もとれゝば、危險でもある。始めは、兩方仲が惡るかつたさうだが、近ごろは仲直りして、運轉手が「お待ち遠」と聲をかけると、馬車屋さんは、「ようッ」と會釋する。世の中は持ちつ持たれつ、此處です。



坂ノ東處女會長　島田敬三氏

大昔金とか銀とか出たといふ金山町へつくと、坂の東村處女會長の島田校長が迎ひに來て居られた。ごはんがすむとすぐ出發する。飛彈川に沿ふて校長は自轉車、私は人力車、峯が重なり合つて小松が茂つて松茸が名物といふ。川は澄み切つて車の上からも底の石が透いて見える。岩と岩との間を筏がゆるう流れてゐる所など水彩畫にでもしたいような。

「旦那夏は鮎がとれますよ、此處の鮎が東京にゆくのです」

と車夫がいふ。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

「東京へ？ハアさうしてみると、私たちが食べる鮎は此の川でとれたのだね」

と、向ふから若い娘さんが十五六人揃つて來る。私を迎ひに來てくれたといふ、何んといふ深切なことだらう。私は人力車を下りて處女會員と手に手をとつて歩るいた。坂の東村に來たのは始めてであるが、此處の處女會員とは昔馴染、會長の島田校長の名は、中央部の理事もよう存じて居られる。言はゞお互に會ふのを待ち戀がれてゐたといふ風――。

「先生思つたより年老つて居られる」

と會長はいふ。

「私はあなたをもつと老人と思つた。」

大笑ひした。

校長の奥さんも出迎へられる。處女會員は益々ふえる。「運動會のようれ。」と笑つた。其中青年會員も來られる。廣通寺の和尚さまも來られる。全村を擧げての歡迎に私は感謝した。

その夜は廣通寺に泊つた。此寺は本村第一のお寺で、眺望もよく結構も立派で、その上に住職が社會教育に熱心である。二三日前から青年幹部の講習會も此寺で開かれてゐた。

本堂に寢食を共にしてゐる中堅青年三十餘名に對し、三時間に渡つて講演を爲し、寢についたが十一時ごろ。明日はお待ち兼の處女會員に何のお話をしよう。

(四) 大雪の中のかゞり火

その夜は靜かでそして寒かつた。五時に目がさめた。本堂で青年が何か話し合つてゐる。その中喇叭が鳴つた。と見る間に三十餘名は、シャツ一つになつて境内に勢揃ひする。青年が早起きをして、お宮まで驅け足するのである。

私も仲間入りすべく、起きてみると、外は一面の銀世界、おやいつの間に降つたのだらう、一尺ほども積つてゐる、いやまだちらり〳〵と止みさうにない、境内の竹藪がすつかり曲つてしまつた。

雪中の早起、いつそ面白いと青年は大喜びで早くも掛聲勇ましく、素足で出發する。この元氣があればこそ。

お宮から踊つて境内で焚火をする。雪とかゞり火と青年、何とも言へぬ壯觀探源和尚もシャツ一枚になつて仲間入する。

一同と共に朝食をすませて、青年と懇談すること二時間、私は處女會場たる小學校へ向つた。雪はまだちらり〳〵。

處女會員もこの思ひがけない大雪に閉口すると思ひきや、二里も遠方から出掛けたものもある。聞けば、父兄が娘の爲に、學校まで二里も雪よけをしてくれたといふ。處女會に對して是ほど理解をもつてくれるとありがたい。

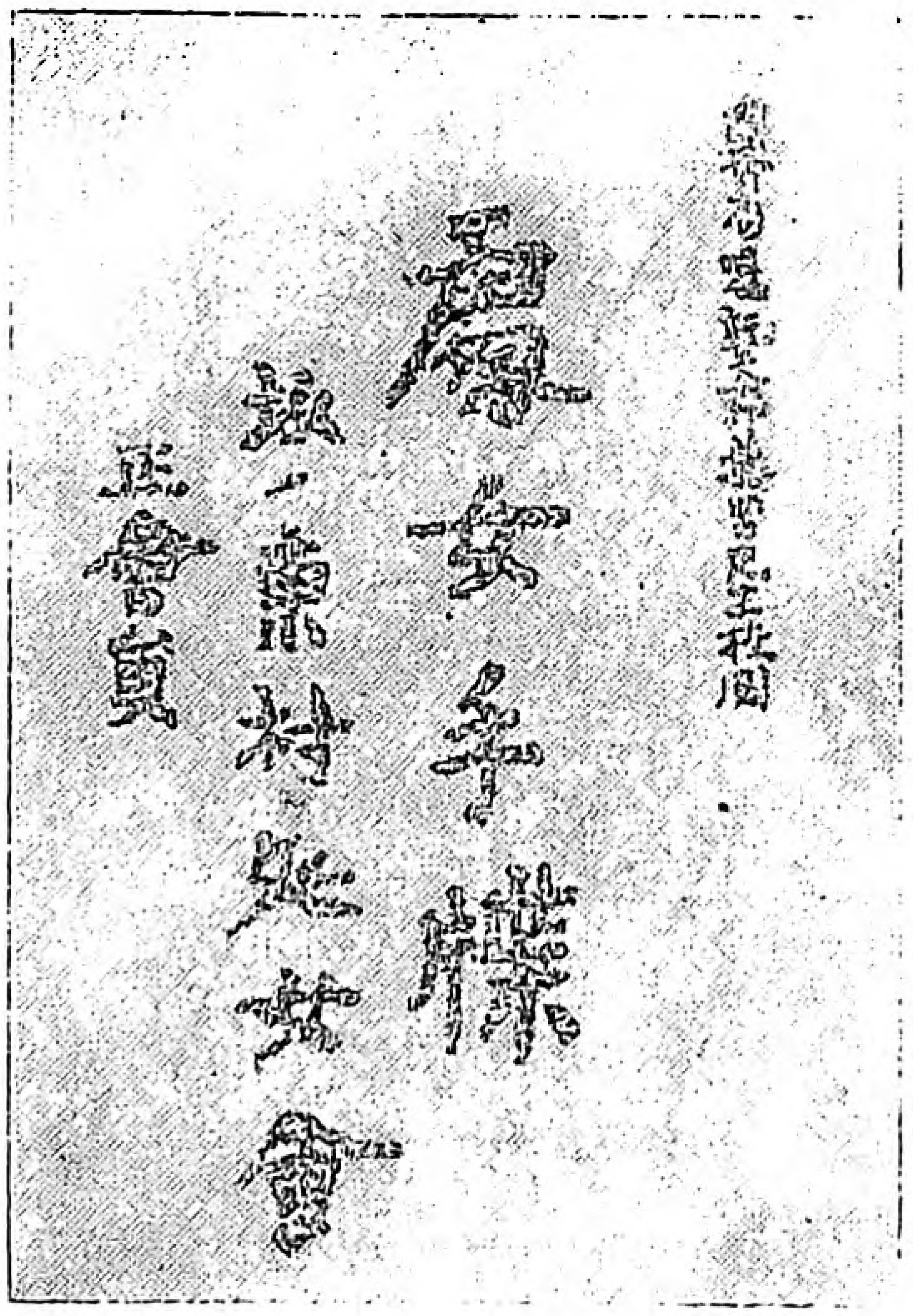
Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

一時から三時半まで處女美談などを話す。父兄も大分來られて、靜かに聞かれる、誌友のお馴染の竹腰よそ枝孃にも會つた。處女會員はみな強く優しくまじめに働け主義に家業に精を出して居る。工場との連絡のよいのもこゝの特色で、三十餘人の工女は他の工女に模範を示してゐる。お正月で工女さんも大抵歸つて居られる。お寺でお給仕してくれたのも工女さん年を聞けば十七、しかも毎年二百圓内外のお金をお土産にして歸るといふ。工女はほんとうに孝女てす。

(五) 島田校長の丹誠

中央部理事諸君――。

蹶てより優良處女會との高き噂に背かず、内容實質完全に近く、最近實行致し居り候事業のみにても、會報の發行、處女手帳の制定、(寫眞參照)出鄕會員名簿の調製、修養會、講習會の開設、一專實行、會員徽章の設定、手藝品評會、鎮守森奨談會等他に類例を見ざるもの多く、殊に特色を發揮せるは、工場との連絡にて、長野、大分、愛知、滋賀各地に出稼せる工女數十名に對し、或は通信に依り、會報の配布に依り、お互の情勢を通じ依て以て鄕土の繁榮を策進しつゝ、あるなど、近來の美談と稱すべく候。



柴田訓導の隣村に去つてより島田現校長夫妻主として處女會の事業に専心で、處女の信望頗る敦厚に候。村や戸數二六〇戸、人口一、二〇〇人の山村の小邑にて、水田乏しく、蠶業の打撃亦尠からざるも、青年處女の努力に依つて漸次生活を向上し、民心輯睦今や武儀郡下の理想鄕を以て目せらる。

小生も大に激勵の辭を呈し候。別冊處女會報及處女手牒御覽下されたく、深切叮嚀誠に得易からざるものに有之候。是も主として島田校長夫妻の丹精に依ると、よき指導者を得たる村民の幸福をしみ〲と感じ申候。

坂の東訪問の途序を以て隣近數町村行脚の豫定に候積雪尺餘、珍らしき山村の景趣に接し申候。

(六) 猪の大きなあしあと

十四日の晩お寺で處女會員諸孃と打ちとけた懇談

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

會を開きましたがなか〳〵思出深うございました。その翌くる朝四時半ごろ起きて金山町に向ひました。東の空が少し白んで、鷄の聲が勇ましく聞えます。峯も谷も雪でまつ白く、其が旭を受けて光ります。何んとも言へぬ眺めで、私はシベリアにでもいつてゐるような心がしました。探源和尚や村長や敎員など多數見送つて下されましたが、中でもなつかしかつたのは、私共の話し聲と雪をふむ足音とを聞いて、道々の家の娘さんが「先生お大事に」と挨拶してくれたことでした會ふは別れのはじめとか、こゝの娘と是が最後の別れかも知れぬと思ふと、見送られる人の心も千々に砕ける。

島田校長とざく〳〵と雪を分けて三里近くを徒歩しましたが、途中に猪の足あとを發見したのも思ひ出でした。

十時に金山町に到着しまして、青年會員及處女會員に對して一場のお話しを致しました。金山町は戸數四四一戸人口二二三一人の半農半商の町で、處女會は大正八年三月出來まして五十名ほどの會員があります敬老會、手藝品評會、圖書廻覧、貯金などを勵んでゐますが、今度私の來ますのをきつかけに短期講習會を開くことになりました。

處女會主催 第二回女子短期講習會時間割（大正十年一月十五日より三日間）

月日	十五日	十六日	十七日
午前之部 第一時 自九時 至九時五十五分		婦人ノ心得 犬飼校長	刺繍 犬飼訓導
第二時 自十時 至十時五十五分	天野理事講演	唱歌 長尾	同上 同上
第三時 自十一時 至十一時五十五分	同	作文 井戸	作文 井戸
第四時 自十二時 至〇時五十五分	同	裁縫 犬飼訓導	裁縫 犬飼訓導
午後之部 第一時 自午後一時半 至二時二十五分	開會 家事雜話 遠水	紋染實習 同上	唱歌 長尾
第二時 自午後二時半 至三時二十五分	作法實習 犬飼訓導	家事雜話 遠水	生花 犬飼訓導
第三時 自午後三時半 至同四時廿五分	作法實習 同上	紋染實習 犬飼訓導	生花 同上

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

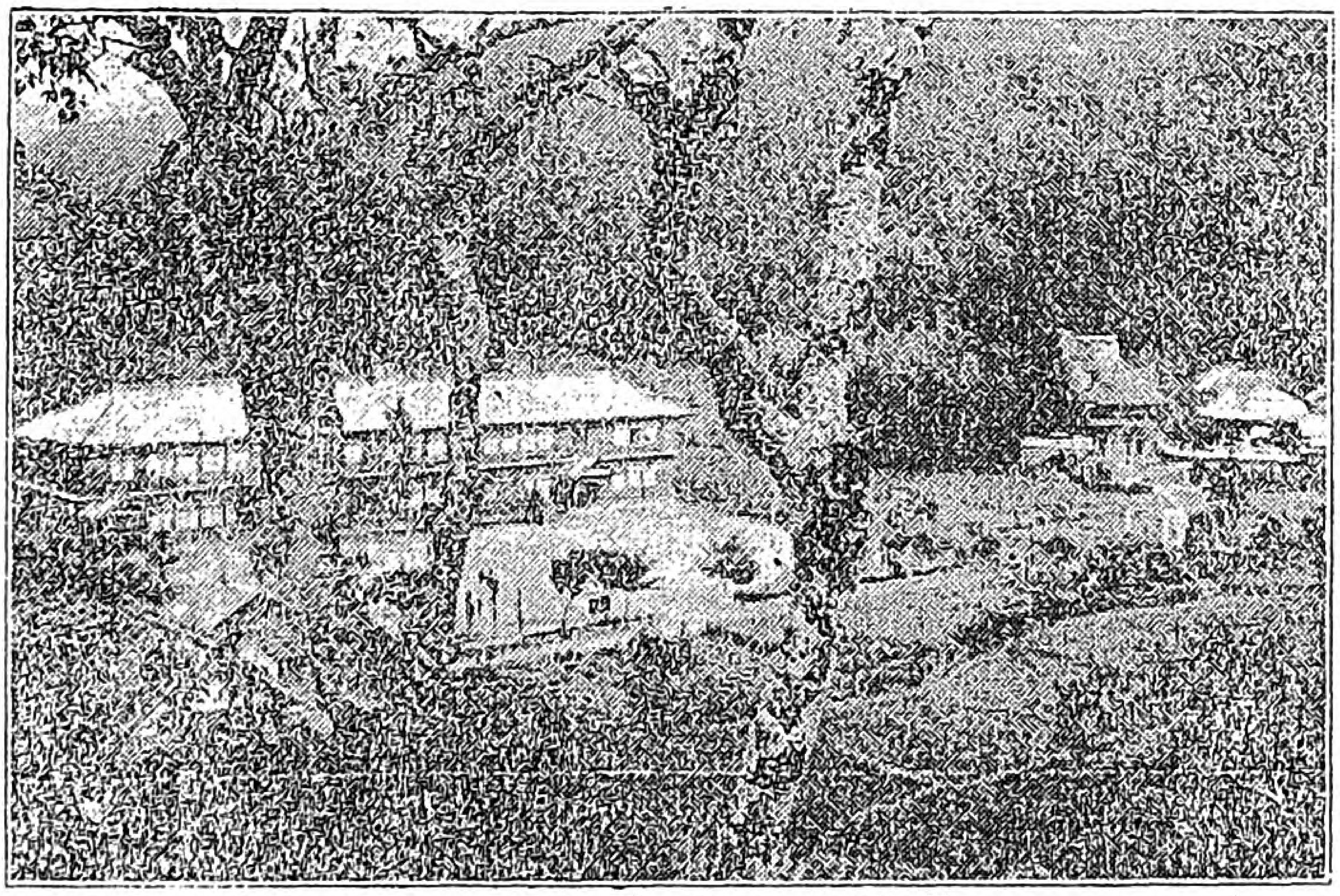
處女會は犬飼校長夫婦が主もにお世話して居られます。聞けば、講習會は非常の好成績で十八日まで延期したさうです。大正の處女たちよ、たゆまず勵め。

（七）處女のお勅語捧讀

金山町を後にして神淵村に到着しましたのが五時ごろ（十五日）大正館といふ旅館に女教員の方が大勢出迎へて下すつた。此の村は戸數八百人口四千といふ可なりの學校中心の大村で長島村長、大野校長共に立派な方です。が、其よりも美談は、此處の處女會は、會長も副會長も共に處女であることです。會長の渡邊ひろ子、副會長の杉山愛子、同山岡けい子の諸孃と旅館でゆるゆる懇談致しました。

十六日の朝十時から處女總會が開かれました渡邊會長の開會の辭について、君ケ代の合唱其から教育勅語の捧讀、全國で處女で御勅語を捧讀されたのは、恐らく本會が七番目でせう。大變立派な態度でした。その後で私は地方處女會のゆくべき道についてお話致しました。

此處の處女會はまだ生れて間もないのですが、以前から修養の道に勵んで居られ、育兒、家事、絞り染、躾、料理などの講習會を年々開いて居られます。處女會としては赤坊ですが、婦人としてはなかなか立派なものです。大野校長は郡内指折りの校長だ



金山小學校處女會會場

さうです。

神淵から雪どけの道を上麻生村まで三里、山へゆくほど谷川の水は清い、水の清い所は人情も美しい。猪狩りの獵人に大勢會つた。

（八）面白い處女會の旗

母上樣――。

先日はいろいろありがたうございました。到る處で歡迎されましたが、尺餘の大雪にはチト閉口致しました。然し却つて思ひ出となりました。此處は岐阜市から十五六里も山の中ださうです。井戸助役のお宅に泊めていたゞきました、校長も村長も熱心家で處女會もいろいろ仕事をしてゐますが、珍しいのは、今度處女會の旗を作つたことです。赤、白、青の三色を三段にしたもので、赤は強く、青は優しく、白はまじめといふ意味で、處女會の會訓にかたどつたものださうです。私に紀念の爲處女會の名をかけと申すので一筆ふるいました。

其から結婚する會員にはお祝として鏡を贈りますが、その鏡の裏には、「おのが姿と共に心をうつして」といふ意味が書かれてあります。も

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

う五人ほど結婚したさうてすが、みな琴瑟相和してゐるとのことです。花嫁さんからふるさとの處女會長へのたよりも見ましたが、優しいことをかいてあります。

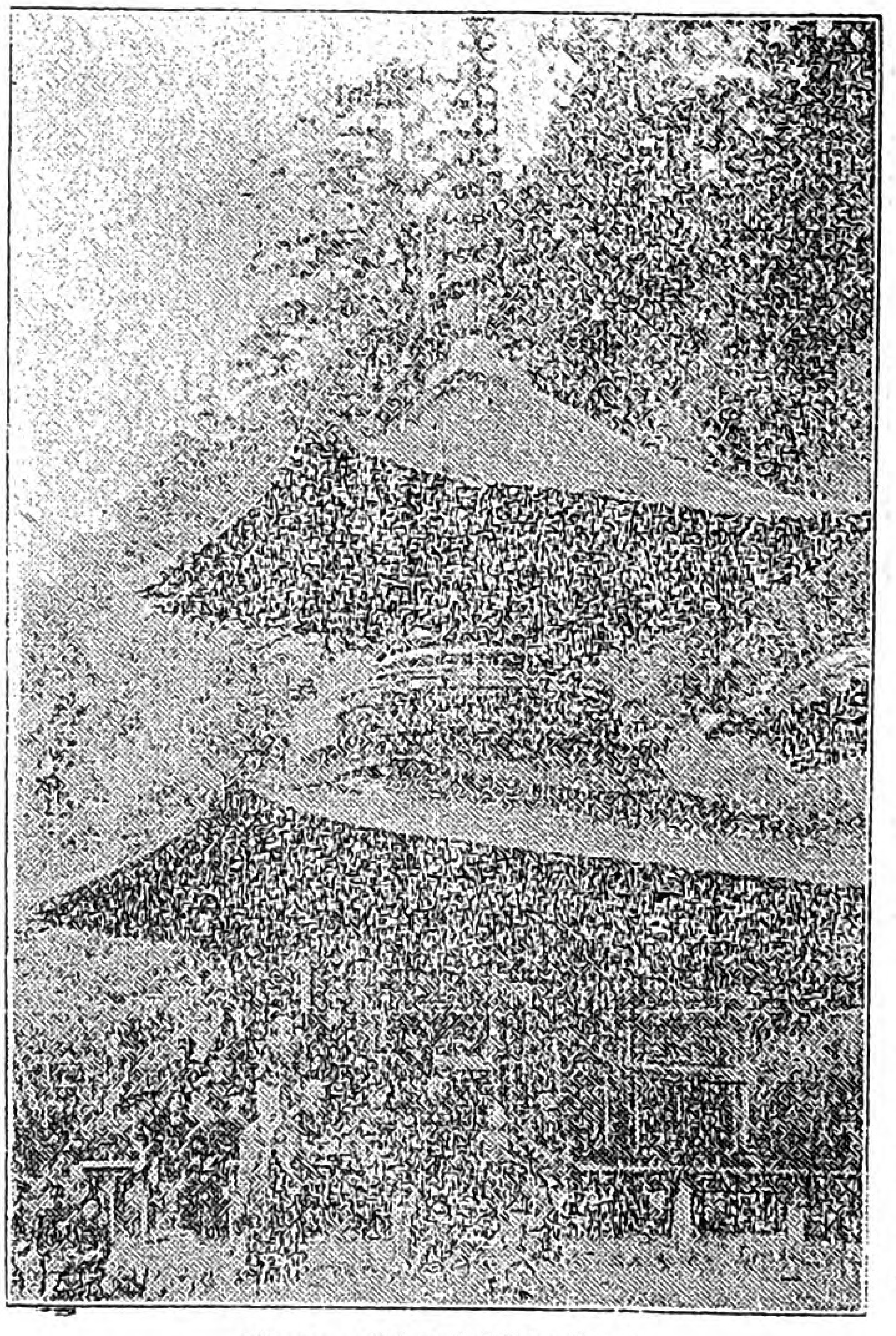
晝と夜と二回お話致しました、私どもの話を青年や娘がよく聞いてくれますのは、嬉しいことです。御兩親のみ惠みと感謝して居ります。

交通不便の淋しい寒い村ですが、人情は溫うございます。（上麻生村にて）

（九）南陽寺の善男善女

十七日の早朝上麻生村を後にして再び神淵村に出て峠を越して上の保村へ出た。大野校長が村境ひまで見送つてくれたのは嬉しい。

上の保村は戸數一千戸、人口四千ほどの農村で土屋村長、河野校長共に青年會處女會の熱心家で、殊に本村の誇りは、孝女加藤しづ子を出したことである。しづ子のことはいづれ時を見てくわしくかこうが、村ではこの孝女の爲に今家を建てる準備をしてゐる。尙一つは、本村は時間の勵行を奬勵してゐることで、「時」といふ立派な雜誌を出してゐる。此村で郡長にもあつた。



下之保村高澤山二重塔

夜懇談會が開かれて、お酒が出たが是からは、校長さんたちあまり飲んで下さるな。私は晩めし後、南陽寺の婦人會へ話しにゆく。お寺の鐘がボーン／＼と鳴る。お話のある時の人集めの合圖であるお寺へゆくと、善男善女が堂に滿ちてゐる。一家圓滿の妙藥について二時間お話しをしてお湯に入つてねる。

宿の前を坪川が流れてゐる。夜目をさますと、雨がふり出したように聞える。

（一〇）處女のお料理

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

湑子どの――。

けふで一週間、淋しからうが使命の爲の旅行だ、喜んで下さい。

けふは富の保村と下の保村と二ヶ所の講演、段々と歸りが近づいて來ます。到る處婦女敎育の聲が高い。

富の保村の處女會は大正元年の誕生で會員八十二名、堀江村長が會長中村校長が副會長をして居られるがなかなか成績がいゝようです、處女規程など面白く出來てゐます。

此處で處女のお給仕でお晝の御馳走になつたが、お獻立は、鯉のさしみ、茶わんむし、おわん、とろゝ汁はや(魚)のかずかず。なかなかおいしく、丁度お腹の減き加減ときてゐるから幾杯もたべました。

「どこの料理屋からとつて來ました」ときゝますと「處女會員の手料理です」と校長は答へる。實におどろきました。味加減といひ、體裁といひ、お給仕振といひ申し分がない。東京の料理屋へいつたと同じことでした。あとで職員室を覗いてみますと、擂鉢やら醬油罎やら七輪やら散らばつてゐました。なるほどほんとうだと感心しました。

下の保村は信用組合の盛んな所で、丸屋といふ家に泊りました。夜國光村長、佐會利校長と一所に懇談しました。村の篤志家と打寛ろいて物語るのは嬉しい。村の娘坂の東村の處女からのお土產ついたらうね。村の娘たちの心づくし、その深切を忘れないでね。「大正處女新讀本」の校正が出始めたならよく見て置いて下さい(下の保村にて)

(二) 關町淑德婦人會

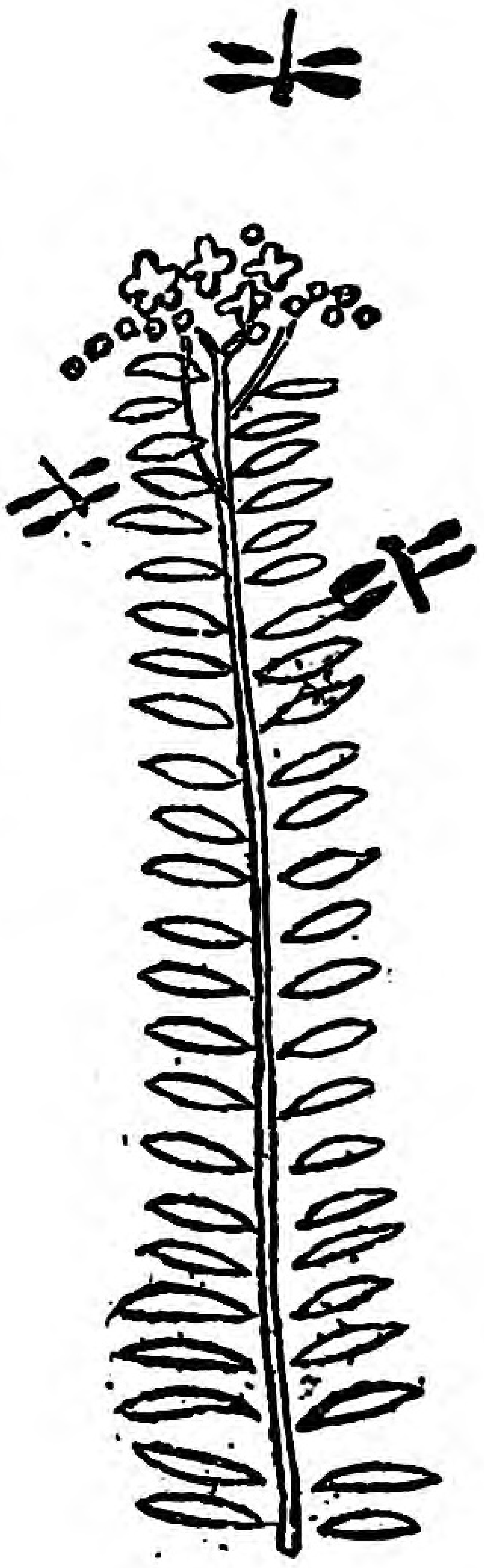
田所理事、松崎ひろの様へ――。

豫定の行動を終へ、關町に戻つて只今會場から歸つて來ました。此處の婦人會は大正七年の創立ですが、婦人が自治的にやつてゐる點が特色で、會長は西尾町長夫人、副會長は近藤校長夫人、後藤、伊藤、前田、鹽田金森諸婦人が幹事役になつて大車輪に働いて居られます。今までの主要な事業は尼港戰捐金、廢物利用展覽會、敬老會などです。敬老會は一昨年七月二十日に開き、七十歳以上の老人百八十五人招待しておすし、お芋、甘酒、だんごなどを御振舞ひした外、福引、手品、劍舞(女敎員)などの餘興もあり、大成功だつたと申します。幹部の寫眞お送りします。三月號にのせて下さい。

講演會は學校で一時から開催しましたが聽衆五百人今度の旅行中一番の盛會でした。武儀郡中第一の町だけあつて婦人の服裝も美しく、品もようございました。鈴木郡長、吉本縣視學も講話されましたが、少しむづかしいようでした。是からは、實例、訓話の方がいゝようです。

私は全國婦女美談を紹介しました。「東京のはほんとうの貴婦人ではありません、あれは、貴金屬が貴いので、金婦人といふ方が當つてゐます。ほんとうの貴婦人は野に、山に、工場に、漁村に於いて、まじめに働く婦人です」と申しましたら一同笑ひながら、喝采してくれました。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN



小説 友情（その七）

深緑

△

火事の跡荒野のやうになつた、廣い河村家の屋敷の中には唯一本の椎の木が高く聳えて、主もなきこの家の沒落を、淋しげに語つてゐます。

「お高さんはどうしてるでせうねえ」

「伯父さんや伯母さんに可愛がられてるでせうか」

繁野と靖代は毎日のやうに、學校の行きかへりに斯うした會話を繰りかへしながら、村の情、村の惠みに浴しつゝ、睦まじい二人は、喜び合ひ慰め合ひ、二年の春と秋とをおくりむかへて、靖代は十六繁野は十五となりました。

「郵便」それは梅包ふ春の朝の事、音づるゝ人もない火の消えたやうに淋し

臺所から

三月の食品

野菜類＝わけぎ、餅草、うど、慈姑、もやし豆、茗荷竹、よめ菜、細根大根、色付生姜、

魚類＝鯛、槍烏賊、かじき鮪、鰈、鮹、蛩、舌平目、榮螺、海たなご、蛤、

果物＝蜜柑、ネーブル、林檎、バナ、

鷄卵の保存法

籾糠を黑焼にして、箱か桶か瓶の様なものゝ底に敷いて、卵を新聞紙に包んで並べ、其上に籾糠を敷いて、幾重にも蓋をして置きますと惡くなりません。

玄米の飯に胡麻鹽

腹八合に醫者入らずとお菜を餘り多く頂く人は粗食の人より反つて弱く、日本人には牛肉も魚も入りません、漬物と味噌汁と少々の油氣があれば結構です。一番簡單で丈夫になるものは玄米飯に胡麻鹽つけた握りです。

淡雪汁

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

い母子二人のわび住ひに珍らしい響きでした。

「まあ何處からだらうね」

母が珍らしげに尋ぬる前に、靖代は臺所から走り出て郵便を受けとりました。

「まあ」

思はず叫んだ靖代の聲に母も出て來て、前掛で手をふき乍ら、封筒の裏をのぞき見て

「オヽ」

と胸の鼓動を押へかねたやうに喜びの聲を發しました。西洋封筒の裏面には母にも靖代にも讀めない横文字が書いてありましたが、ロスアンゼルス高野文雄といふ事だけは明瞭とわかりました。

「兄様ですねまあアメリカから」

此頃教はつた外國地理によつて、やう／＼に想像出來るあめりかの事を考へ乍ら、靖代はなつかしい兄の手紙を見つめました。

「どれまあ文雄が無事で居たか、中にはどんな事が書いてあるかい」

母はもう高まる胸の響きを靜めかねて、中の文句の吉凶を判ずる暇もなく唯々無事であつたといふ喜びに充たされて、靖代をせき立てゝ封を切らせました。

大根の皮や切端が淡雪汁といふ立派な御料理に變はる事にお氣づきでせうか。大根の皮や切端を織切にして、鐵鍋に胡麻油を少し落し、能く煮えた頃之を入れて、杓子でよくかきまぜ、軟くなるのを度として、煮出汁を加へ、醤油を加へて味をつけた後、豆腐を砕いて入れ、煮えるまで火にかけます。

柿粉の作り方

柿の皮はよく日光で乾かして、鐵鍋かほうろくで炒り、臼か石臼で挽き、毛篩でふろふと砂糖を入れなくとも、甘い柿粉が出來ます。

澤庵で粕漬

澤庵の色の悪くなつたもの、味の悪くなつたものを、よく水にさらして鹽出しをして、日光で乾かし、酒の粕に鹽を加へて其中に漬けて置きますと四五日の間に旨い粕漬が出來ます。

烏賊の胡麻鹽燒

烏賊は肉の厚いものゝ方がよいのです。足をぬいて、甲良を押し出し、きれいに水で洗ひ、背の方から縦に切り開き、薄皮を剝いて、外側の方へ、縦横の布目に庖丁目を入れ、鹽小匙一杯を五勺の水に溶いて、其中に布目を下にしてつけておき、暫くして金串四五本で縫ふやうにして突きさし、庖丁目の方から强火で燒きます

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

「お母樣胸が充滿です。

隨分永い年月でした、十年一昔とか、十六の少年であつた私も廿六の春を迎へました。我家の不運、母上の十年間の御心勞もう細々とは申さなくとも私は鏡にかけて見るより明らかに想像出來ます。親を捨て家も妹も忘れて飛び出した、親不孝者が今さらに何面目あつて母上にお慰めの言葉が申されませう。

然し眞に家を思ひ母上を思ひ、あらゆる感情を犧牲にして、十年間の口にも筆にも盡し難い辛苦艱難と鬪つて、自分の最後の目的に向つて一生懸命の力をつくした、私の今までの心の中を今初めて母上に申し上げる事をよろこび、十年目に初めて筆をとりました。

隨分苦しみました、田舍育ちの十六の少年が橫濱に下車して、貿易商店に奉公した初めから、はる〳〵あめりかまで來て、一本立の事業にとりかゝる迄の私の十年間の物語は到底一朝一夕に書き記す事が出來ません。兎に角自分の腕一本の力でやうやくに大事業の基礎を固めた、自分の樣子を早くお知らせして、母上を慰め度い一心で突然筆をとる事にしました。

今年の秋には歸國して、十年目に父上の墓參もしませう、母上ともゆつくり話をいたしませう。まだ小學校にも入學して居なかつた靖さんはもう一人前の娘となつた年頃と思ひます。充分に勉强さする餘裕もなく、不遇に泣き暮してはゐませんか。

どうぞ今からでも存分に敎育して立派な婦人とし度いと思ひます。この秋にはこちらの全財産をあげて歸國します。それまでどうぞ辛棒して下さい爲替の二百圓は當座の費用に送ります。」

讀んで居る靖代も、聞いて居る母も、嬉しいやらなつかしいやらで、止め度なく頰をつたはる涙を押へかねて泣き入つてしまひました。

夢ではないか？　夢なら何時までも醒めてくれるなと念じつゝ………

△

高野文雄の成功談は早速に暇人の多い村中に響き渡りました。

「一萬圓儲けたさうな」

「いや十萬圓ぢやさうな」

「お母さんの處に二千圓も送つて來たさうぢやから」

少し焦げた時に、裏返して同じやうに燒き、黑胡麻を撒りかけ、又一寸あぶつて、金串をぬき二寸長さ四分幅位に切つて、ほうれん草の胡麻和などゝつけ合せると結構です。

山芋の油燒

山芋百匁を能く皮を剝いて、卸金で擂り、葱の白根だけを小さく刻んだのと、玉子二個とを入れてよく攪き混ぜ、胡麻の油を極く少し鍋に入れて、燒きます。少し焦げる位の燒加減にして、醬油をかけて頂きます。

鱈の昆布しめ

鱈を三枚におろし、皮を取り去り、一寸位の長さに切ります。鱈肉の厚い時には、肉を二枚におろしてもようございます。そして鱈に纖切にした生姜をふりかけ、昆布をよく洗ひ、それによく包んで、輕く壓石をかけて、二三日過ぎて取り出し、二杯酢か橙酢などを添へて出します。

昆布卷牛蒡

大きな上等の牛蒡を一本水からよく茹で上げて、充分軟かになりましたら、昆布煮出汁三合ほどを拵へ、牛蒡を一寸位に切つて、小鍋に入れて、醬油で程よく味をつけて、昆布につゝんで、麻糸で二三ヶ所括り、暫くおいて取出し、

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

話は輪に輪が重なつて、ぱつと擴がつたこの風評が村全體を壓して、今まで靖代親子を冷遇した連中までが、俄かによろこびやら追從やら並べたて丶呑み込み顏に村中を吹聽して廻ります。

話は話としても文雄が十年全身の血も肉も努力の二字で固めた辛苦の結果、巨萬の富をもつてこの秋歸鄕するといふ事は、確かな事實です。

活氣づいた我家の喜びに勢づけられた靖代は、繁野につゝみきれぬ嬉しさを告げ、ます／＼仲睦まじく勉强して、三月廿二日高等小學の卒業證書授與式には繁野が總代で免狀を頂き、靖代が得意の文章と美しい聲で、答辭を讀んで、並居る人々を感動させました。

續いて四月には、繁野と靖代は足を揃へて、郡立の實業女學校の門をくゞりました。二人のよろこび、二人の滿足はどんなでしたでせう。

「どこ／＼までも二人は離れないやうにしませうね」

「えゝほんとに二人はもう心が一つになつたのね」

幾度となく繰りかへす、この對話を又更に口にしては、相携へて勉學するのであります。

盆の十五日の事でした。今年は希望の光に輝きみちた靖代の家では、懇ろに魂祭りを行ひ、午後から母と入れ違がひに靖代が墓參りをするとて、身支度をしてゐますと

小口切にして出します。

鷄肉靑豆そぼろ煮

鷄肉を叩いてそぼろにして、靑豆と共に煮ますと見た處も美しく、軟かで美味しくて、萬人向の御馳走です。

鷄肉をよく叩いて、鍋に味淋四勺を煮立て、醬油一勺半加へて、鷄肉を入れ、ぼろ／＼に煮て皿にとります、靑豆を味淋三勺と鹽少々とで煮て靑豆を掬ひ上げ、其煮上げを茶碗につぎわけて、別に鷄卵五個を溶いて、湯葉汁少々を混ぜて、醬油で味をして、これも茶碗につぎわけて、蓋をせずに蒸籠の中へ入れて、蒸し上げて蓋をして出します。

梅花玉子

梅花玉子は、玉子をゆでゝ、殼をむいて、(その半數は紅で色をつけろ)布巾に包んで、其兩端を堅く括つて布巾の外から、玉子を縦なりに箸五本をあて、同じ離れに配り中に煮出汁一合を入れて、醬油半勺加へ、鍋を下ろし、大匙一杯の葛の水溶きを入れて、どろ／＼にして、玉子の旨味を入れ、ぶつ／＼の出來ぬやうにまぜ合せ、前の靑豆を入れて、ざつと煮ます。器に鷄肉と靑豆とを盛つて出します。

殘り物で村雲豆腐

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

「靖代さん」
繁野が優しい聲をかけて入つて來ました。
「私し今から墓參りに行くの」
「さう私も行くわ」
繁野も共に連れ立つて、緋繻子の帶を可愛らしくお太鼓にむすんだ二人は、田甫道を通りぬけ、山の崖の墓地に參りました。
綺麗に掃除された、靖代の父の墓の前に立止つた二人は、水を手向け、線香の煙ゆるくのぼる前に蹲踞んで、手を合せました。
二人はしみ〴〵と話しながら坂道を下りて行きますと、向ふの石塔の影に一心に手を合せて居る女があります。髮はませた銀杏返しに結んで居ますが、帶の結び工合から、體付からまだ二八の年頃としか思はれません。
段々と進み寄つた二人の足音に彼方でも、氣付いたと見えて、此方を振りかへると同時に
「オヤッ」
「あらつ」
と雙方から驚きの聲を發して、互ひに言葉も出ずに立すくんでしまひました。
それは三年前に別れた高子の憐れな姿なのです。

すべて料理の後腐物を利用する事は、大切な事です。肉でも魚でも細かに刻んで、この外に人參、椎茸、豆腐、玉子、だし、砂糖、醬油を用意します。豆腐は布巾に包んで搾つて、擂鉢に入れて擂り之に玉子を豆腐一丁に二個の割合に入れ、鰹節煮出汁一合と醬油二勺半位加へて別に椎茸、人參の下煮をしたものと、肉か、魚の刻んだものとを混ぜ合せて、流し箱か平たい丼のものに入れて、蒸籠の中に入れて、蒸します十五分か二十分間すると、蒸せますから、程よく切つて、深皿に入れて出します。

あられ炒りの作り方

お雛壇にあられはなくてならぬもの、普通のお砂糖をかけたのでは珍らしくありませんから風替りなのを御紹介いたします。
あられは正月の餅の切端を三四分角に切つてよく乾かしたものを用ひます。これは焙烙でから〳〵するまでに炒ります。鍋に醬油二勺、味淋半勺位、太い生姜の卸した搾汁少々を加へて火にかけ、一旦煮立てゝ、其中にあられの温いのを入れ、よくかきまぜて、直ぐ平たい器に取つて冷まします。
東京で賣つて居るあられは炒りが極く細くて種々の色が美しく、誠に體裁のよいものであります。
あればかりでなく豆や干飯を入れると一層美味しく頂けます。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

自然に親しみ乍ら

次の手紙をおよこし下さいました、玉川花子様といふ方は、もと高越さんと申しまして、地方でも評判の感心な方で、先年、これまた、模範青年として、郷土のためになくてならぬ人物、玉川二郎と申上げる方と、御結婚なさいました。今では可愛い御子様も御出來になりまして、圓滿な家庭を造つてゐらつしやいます。そして村の人から二郎様は、青年團長に花子様は處女會長に選ばれなさいまして、地方のためによい感化を與へて居られます。（濟子）

前略……。昨年十一月、全國青年明治神宮參拜團が、上京いたしました時、不束者乍ら、主人が郡青年團の代表者として、出席させていたゞきました。今少し早く御住所を存じ上げて居りましたら、一寸でもお伺ひして、御面談の榮を得、私からも御傳へ申上げるのでございましたものを、誠に殘念なことをいたしました。天野先生には、全國青年男女のために御奮闘下さいますこと……中略。

早いものでございますね。ふり分け髪のお友達はもうみんな處女となり、先生となり、妻となり、母となつてしまひました。そしてお互の今日の境遇は、秋の野の亂れ咲きの様に、一つとして同じ色彩でないのは不思議なほどでございます。

到らずものゝ私が、學校を出ましてから、世間の風に吹かれる様になりまして、もう三年になります。その間隨分樂しい事も、苦しいことも味ひました。どうぞおきゝ下さいませ。この頃になつて、はじめて世の中の辛さ、人とのつきあひの苦しさを知る様になりました。いゝ加減の事では世渡りの出來ぬ事も、分りました。他人に氣兼ねしながら働く身には、人知れぬ涙がございます中略……。

その都度優しい夫に慰められては、何もかも忘れてまた勇氣を出すのでございます。人様に惡い氣持を與へまい、主人に涙を見せて、外で働く心をにぶらせまいと、心では泣く時も表に笑顔を作る様な矛盾したことも致します。

然しまた樂しい事もございます。それは御誌の主張して居られます様に、心から野に働く身を、感謝することの出來る様になつたことでございます。いろ〳〵空想を夢見た時代には、どんなに東京に憧れましたか

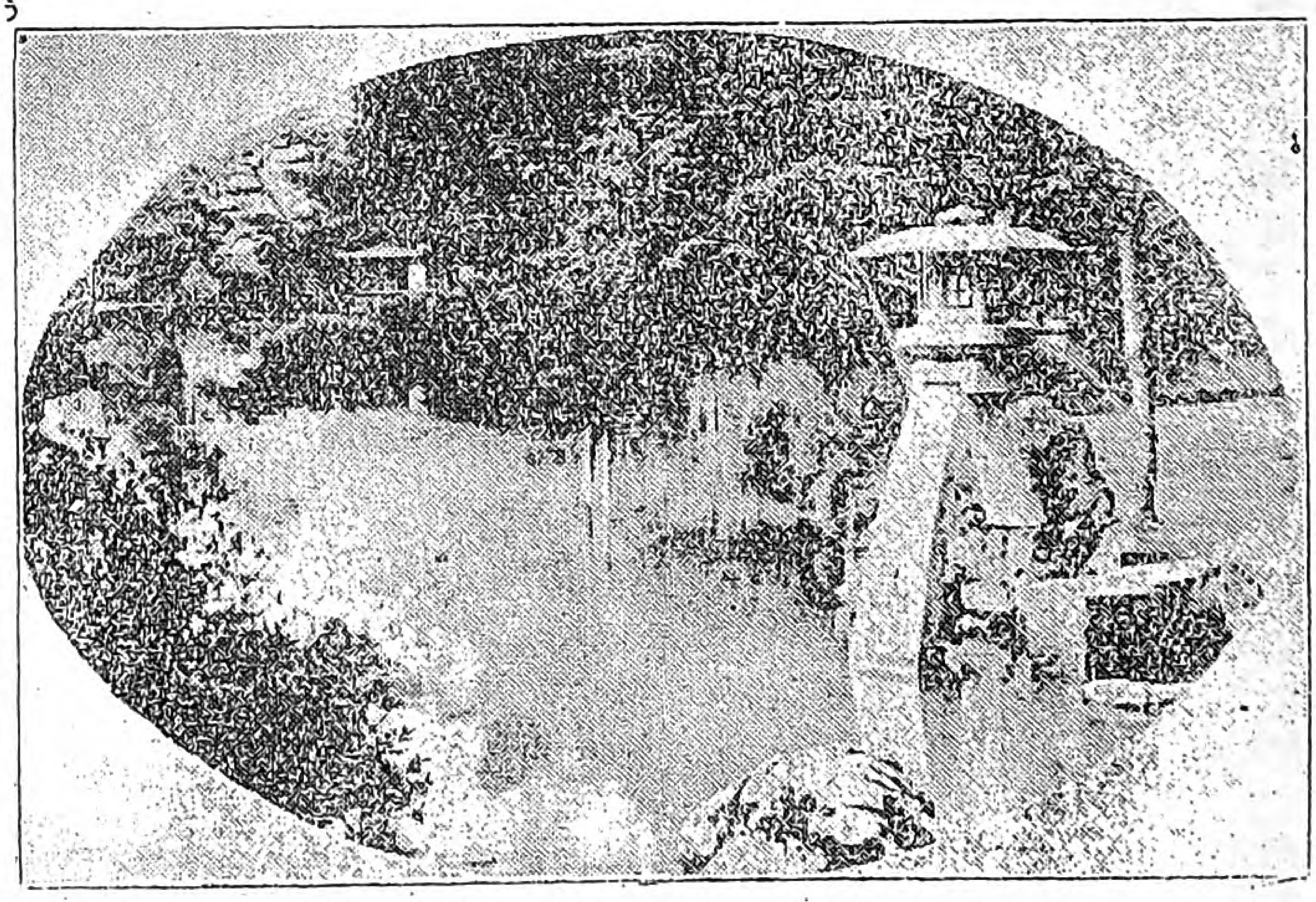
Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

友達の誰れ彼れを羨んでは、噫同じ人間に生れ乍ら、なぜ自分は百姓の娘として野の隅に朽ちてゆかねばならないんだらう。神は不公平だと怨んだ事もございました。

夏休みに東京から歸つて來られた方を見ては、いつそのこと家出でもしやうかと、齒がみした事もございました。

明けても暮れても單純な山川、見馴れた田野、どこに何の樂しみがあらう。いやだ／＼とくやし涙に夜中枕を濡らした事もございました。あゝ然し私も年瀬の車に二十の聲を聞く樣になりました、いつ迄そんな子供心でゐられませう。

先生方のお話をきゝ、「處女の友」を拜讀し、且つ自分でも深く考へる樣になりましてから、すつかり私の心持は變つてしまいました。見馴れた野山が、新らしく私の心に映るやうになりました。靜かに空行く雲を眺めて居りますと、自然に涙さへ浮びます。小さい村を圍む高い山深い森目高の小川も野菊の廣野も、みんな私を慰めてくれるやうになりました。



金澤兼六公園

私は苦しい時、悲しい時、にごりない大自然の前に、私の心をさらけ出して靜かに考へます。野良に鍬持つ時は何もかも忘れられます。心がうち擴げられた樣な氣がします。

自分の丹誠に比例して、大きくなつてゆく、作物を見るのがたのしみでございます。

他人に氣兼ねしたり、臺所にごたついたりしてばかりゐては小さい氣になつてしまひさうでございますが、歌ひ乍ら鍬を刻んでゆく勞働の

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

日があると思ふとうれしくなります。
これからは外に働く時がだん〴〵多くなつてゆきます。主人も自然の讃美者でございます。二人はよく草をとり乍ら、自分等の身のほども顧みず自分等の氣持を。三十一文字に讀んでは芭蕉以上だの、千代女もはだしだのといつて評し合つては笑ひます。
農業の暇には、出來る丈け讀書をいたします。田舍の事故、着物の心配はございませんから、なるべく本を買ふ様にいたします。周圍の人達は、まだ〴〵固陋で、生意氣だとか、ぜいたくだとか申しますけれども私達はこれ丈けは止すことが出來ません。またその必要もないと盛に讀むのでございます。
どうか、村の若い娘さん達も、私達の力に依つて少しでも時代の新らしい空氣に觸れて行つて貰ふことが出來るならばと、その方面にも力を致して居ります。今度私に處女會の方を引き受けてくれとの事でございますので。辭退しかねる事情からお受けすることにいたしました。丁度主人が青年の方をして居りますので、何かと都合がよからふと存じます。
どうせ解らぬ者同志の事でございますから、御導きくださいます様、御願ひいたします。
この方面にはお互に興味もございますし、若いところから若い方々の氣持もよく認めますので、他の事よりは少しは出來やすいかと存じます。
晝間働きを終へて、赤坊を抱いて、夕餉の繕に向ひ燈の下に談笑するときは、一日のうちの最もたのしい時でございますおかげ様で子供も可愛い盛りになりました。
人なみすぐれて大きく育ちますのが、心強うございます。然しこの若い父と母とを省みますときあまりにおろかな親の血を分けた子だけに、氣の毒にもなり、すまなくもなつて來て、悲しさが胸一ぱいになります。どうしてこの子供を立派に敎育してゆかふかなど、迷ひます。肩上げのおりたばかりの小さい母の胸御察し下さいませ。
大分ながくなりました。何をかいたか分りません。御寒さの折柄御身御厭ひ下さいませ。先生によろしく御傳へ下さいませ。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

女傑ヂャンヌの話（その二）

岡なをじ

ヂャンヌが皇太子に拜謁を仰せつかつた後で王は娘の身元を調べる爲めに彼の女の郷里に使を出しました。そして使の報告に依れば實際彼の女の謂ふた通り潔白な處女で神を信じ強く優しく眞面目に働いて居つた娘と云ふ事でした。

□神の使ヂャンヌの出陣

此の時に佛國は英國軍の爲に敗られ唯オルレアンのみ守り得たのみで、其オルレアン市も敗られんとする危險の時でありました、當時世論は「神の使ヂャンヌをオルレアンに立たしむべし」とさけぶ様になり又皇太子も終に之を許しました。神の使ヂャンヌは喜び勇みツール市へ來て出陣の用意を爲し、甲冑を身につけ金地の天鵞絨の外套を着て出陣しようと致しました。此の時皇太子はヂャンヌに一口の劍を與へんと致しましたが、彼女は之を辭退し「神の聲に聖カザリン祠堂の下に自分の取るべき劍あり」と言はれ使者を送り之を探さしめましたが果して一口の劍が發見されました之れには皇太子も隊長も町人も非常に驚きました此の噂が忽ち武士市民の間に評判となり「末頼母しき娘よ」「神の使ヂャンヌよ」と敬慕されました。

神の使ヂャンヌの出陣は實に花の蕾十六の潔く白きはだえに甲冑を着、金鞍白馬に跨り左手高く旌旗を右手に神劍をかざし三軍を叱咤せんとする樣は實に雄々しくも尊き姿でありました。

□ヂャンヌ英國軍に軍使を派す

ヂャンヌはオルレアンに行くに先だちオルレアンを攻圍するツール町の英軍に向つて

「英國王に告ぐ吾の言ふが如くすべし佛國には王あり、佛國をうかゞふ者は速に立去るべし。然らざれば汝は亡びん」

「汝宜しく正義の道に從ひて速に佛國を立去るべし」

と書面を送り、オルレアンを指して攻撃しました。

時恰もオルレアンは旬日の内に必ず敵の手に落ちんとまで言はれて居つた矢先神の使ヂャンヌが同市へ乘り込んで來たと云ふ事が傳へられると市民の喜びは如何ばかりでありましたらう！

一方英軍では彼の女の送つた書面を見て「彼の女を惡魔の使なり」と怖れました。

ヂャンヌは時には諸將の意見をもかへり見ず、單身白馬に鞭打つて、偵察の爲敵中深く入りましたが、敵兵は彼女を怖れて何にも手出しを致しませんでした。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

□佛國軍の勇氣百倍す

旬日の内には衰へんとした佛國軍に彼女の雄々しき姿が見えるや、勇氣は百倍し負傷兵すらも身を起し勇を皷して英國軍に向ふようになりました。ツール町の攻擊の時に彼女は敵の爲めに肩を射られ、血は白きはだえを破りほどばしりました。

チヤンヌを失ふ事は佛國軍全體を失ふと同じであるとて部下の兵士は彼の女を助け、長く戰ふ樣にと祈りました。

□戰場で神を祈り奮戰す

孃は戰の内にも常に神を祈りました。すると常に聖カザリンと聖マルガレツトの姿が現はれました。其れが爲に彼女は一切の苦痛を忘れ奮戰しましたチヤンヌの胸にはまだ血潮がにじみ出て居りました然し彼の女は勇しく前よりも高く左手に國旗をかざし右手には血にしみた神劍をふりかざして攻擊し、白馬の上に高く雄々しきチヤンヌの見えたとき血氣にはやる兵士等は

神の娘が進む　進め我等も進め

と潔く美しき少女の下にと集ひ進む樣になりました。

□ツール市もオルレアンも皆救はれた

ツール市は遂に彼女の爲めに占領せられて、佛國至る所彼女を神とあふぎオルレアンは神の娘によりて救はれん佛國は彼女によりて救はれんと信ぜられ、オルレアン市民は狂喜しチヤンヌに感謝の會を開き心の内より彼女の雄々しさを稱へました。

□終に皇太子佛國王となる

ツールもオルレアンも皆チヤンヌの爲めに佛國軍の手に歸しました。孃は皇太子を佛國の國王にする事になる迄苦心して戰ひまして遂に佛國領土の大部分は佛國軍の手に取りかへされ、皇太子は佛國の國王となり

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

ました。斯くて一少女のヂャンヌは、國を興し王を救ふたのであります。

□ランス攻撃

ランスは其時まだ敵の手にありましたので、ランスを攻撃せんと出發する時市民は別れをおしみました。彼の女の白き頬は紅ゐと燃え、若き男子は皆少女の旗下に志願兵となつて集りました。

又彼女は部下を愛し殊に貧しき者は深くいたわり愛しました。彼女は常の戰に前に御祈を捧げて後に

勝利は疑なし進め〱

と先頭に立つのを常としました。こんな調子でまたゝく間にランスもまた陥落しました。

□ヂャンヌの喜び譬へんに物なし

王樣は彼女のすすめによりランスの大教會で、國民の盛なる歡呼の内に戴冠式を擧げました。戴冠式が行なはれますと、彼女は胸充滿に喜びの色を漲らせ、王樣の前へ出て

あなたは立派な佛國の王樣です
神樣の御使です

と言ひ終り餘りの嬉さに感極まつて泣き伏しました。

□パリー市をも取り返さんとす

彼女は直ぐ又パリー市を取り返さうと致しました。此の事が終に彼女を非業の最後を遂げしめる原因となつたのです。

戰陣に立つ前に御祈を捧げますと聖ガザリンと聖マリガレットとが現はれいと悲しげな口調で

御前は此の春の中に敵手に捕へられる

と豫言しました、これを聞いてから彼の女は人知れず其小さき胸を痛め始める樣になりました。

□パリー近くの最後の戰に
ヂャンヌは美青年に捕へらる。

然し此後と云つても彼女は戰場に出れば例の旗と劔とを持ち、白馬に騎打つて進め〱と眞先に進んで行くのです、ヂャンヌは敵状を偵察し一齊に敵兵をパリー市外に驅逐しようと考へました。或朝ヂャンヌは二三

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

の部下と一緒に偵察に出かけました所が途中の様子から見ると敵は益々優勢となり、悲しいかな味方はだん／＼勢が弱つて行くのを知りました。そこで彼女は愛馬に鞭打ちまつしぐらに走り出し、彼女の左手の旗はひら／＼風になびき、神劔は朝日にかゞやきまぶしきばかり、馬上の彼女の姿は凛として神々しく見えました。

ヂャンヌがエンピエーヌまで參りますと、運命の神の惡戯か行手の橋は落されて、激流が岸を呑んで敵はヂャンヌの後に迫つて來ました。其時彼女は必死の勇を以て勇敢に戰ひ、英國の貴族の青年と馬上で格闘した後、終に青年の爲に馬より引き落されました。上になり下になり格闘、そこへ敵兵多く群がり來り、彼女を繩に縛つてしまひました。

□獄中のヂャンヌ

傷ましくも敵の手中に陷つたヂャンヌは最早や神にも見放され頼るべき者もなく、敵兵の嘲笑の中に圍まれました。ヂャンヌは囚人として取り扱はれたので、冷い／＼獄の中に足は鎖で繋がれ、腰には重い／＼重石をつけられ、夜は天井の梁につながれて聞く聲は嘲笑罵倒の聲のみでした。

又彼女を辱めんとする者などもありまして、苦しい悲しい目に合て居る時に影となり日向になり彼女を慰めた者は先に彼女を捕へた貴族の青年でした。

□ヂャンヌ死刑を宣せらる

一四三九年終に邪敎徒の罪により宗敎裁判所で判決を受け虚言者反徒殺人犯淫蕩者背敎者と定まり哀れにも死刑に處せられることになりました。此の宣言を聞いた時の彼女の心中は如何であつたでせう、ヂャンヌは清い／＼潔白な處女でした、然るにこの樣な判決によつて佛國の忠臣義烈なオルレアンの處女は空しく斷頭臺の露と消えんとするのです。

□火刑の當日

火刑の日が定つていよ／＼其日になりました。寄り集ふ群集中に、青ざめた青年の顔を見た時ヂャンヌの胸は云ひ知れぬ思ひに燃えました。

炎の中より十字架を抱いた彼女の聲が二三度

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

イエスよ　イエスよ

とかすかに聞ゆるのみであはれ花も恥ぢらふ妙齢の十九歳を一期として刑場の煙と消えたのであります。

□終に佛國虎口よりのがる

ヂャンヌはかくして此世を去つたけれども其後佛國は勢力を恢復し翌年パリー市を取返すことを得、佛國は永く救はれました。

嗚呼女傑ヂャンヌ其形體は亡びたけれども、ヂャンヌは六百年後の今日まで、其の生命を遺して居ります否未來歴史の續く限り幾萬年の後と雖も存命するのです。今尚彼女はオルレアン市に銅像となり敵國をにらみ、其精神は永く佛國人の血となつてながれて居り、又今後永遠にながれる事でせよう。

今から十五年前法皇は彼女に聖者の榮位を送りました。

——（終り）——

よもやま

禁酒婦人部の活動

お酒が身體に害を及ぼし、子孫の人まで困るといふ事は大分多くの人が心にかけて參りましたが、國民禁酒同盟會では特に婦人部を設けて、今から後の若い男子に酒を飲ませぬため、最も强い母の力で酒を止めさせるやうにと禁酒に就いて様々の運動を計畫してゐます。

西川文子女史の禁酒運動

新眞婦人會の西川文子女史は最も熱心な禁酒運動家で昨年十一月三日明治神宮祭の折にも青山で飛行機で以て禁酒宣傳ビラを撒布されましたが、今年も禁酒のために全力をお盡しになる決心ださうです。

失明の高女生に同情

東京麹町高等女學校生徒に蛔崎下二子といふ人がありますが、此春卒業する筈ですのに、兩眼共見えなくなりましたので、お氣の毒な御心の中を察して、同窓生一同級會を開いて、病める友をお見舞ひして、その慰めのために蓄音機一臺を贈つたといふ事です。

中央部の悲しみ

本會理事大江すみ子女史は一月初め御良人を失はれ、同じく評議員高島平三郎氏は二月初め御令閨を失はれました。中央部としても深く哀悼の情に堪えません。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

ひなまつりと桃の花

五節句の一つの雛まつりが來ました。寒さも段々うすらいで、野に山に霞がたなびき、桃の蕾がふつくりとふくれました。ひなと桃、何んといふいゝ組み合せでせう。

桃といふと雛を思ひ出し、雛といふと、桃が心に浮びます。それもその筈、桃の花は娘ですもの、櫻を町の奥さんとすると、梅は舊家の未亡人、そして桃は純な里の處女です。

ごらんなさい、あのふつくりとした蕾、丁度乙女の唇のような、袂があるならば、顔をかくしたいような風情で、いつもにこ〳〵してゐます花見(さくら)は陽氣ですが、桃見はごくしとやかで、靜かなものです。かき餅でも燒いて、お天氣のいゝ日に里の桃を見にゆくのは、いかにも長閑なものです。桃見に、醉つぱらひは少うございます。

桃咲くや家あつち向こつち向

税輕き十戸の村や桃の花

雛まつりは、町も田舎も致しますが、是も田舎の方が盛んのようです雛段をかざり、かわゆい人形雛のかず〳〵を列べて、其へ白酒や、菱餅を供へます。夜は豆行燈がともつて雛樣の影が小さく〳〵うつるゝかわいゝですね。其處で桃の花片がチラリ〳〵。

どうしても雛祭りは女性的です。五月の端午を男子の遊びとして、雛を娘のお節句としたのは、古人のいゝ想ひつきでした。女はこの雛のように美しく、お行儀よく、品がよくならねばなりません。雛まつりは、この爲に後の世までも傳へたいものです。

雛の爲に生れた處女會が少くありません。又この日に手藝の品評會をしたり敬老會をしたりする地方も少くありませぬ。料理の講習、作法の講習もふさはしい。どうぞこのお節句を有意義に利用して下さい。

雛まつりの面白い作文を一つかゝげませう。是は靜岡の青年會員が作つたのです。

雛まつり

御雛樣は座敷に片隅に行儀よく立派に並んで居る。ランプに火がともつて後の唐紙に影が美しくうつる。御内裏の金びらがキラ〳〵光る。高い段には天神樣が長い髭を生やし、腰には曲つた長い刀を差して、靜かにしないと、御手討に致すと言はんばかりに控へてゐる。下の段には黄や白や菱餅が供へて其傍に供へたばかりの御飯が細い湯氣が立てゝゐる。小さい妹も來て兄さん此の御雛樣は隣りの御雛樣と同じだネー姉妹でせうと私に聞いた。私は「あれは御隣りへお嫁に行つたんだ」「兄さんうそでせう」白酒はたへずプンプン匂つてゐる。傍の花瓶の桃が二ヒラ二ヒラヒラ〳〵と散つた。(寺尾鋭輔)

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

地方 皆さんからのおたより 通信

再び先生に

福島縣 笠原ふじ子

あまりの悲しさに、亂れ書き何とぞ御判讀下さい。一月の雜誌にお載せ下さいました。私への先生のお優しいお言葉に、私は湧き出る涙を禁ずる事が出來ませんでした。御力添へ下さるといふ先生の御言葉の嬉しさに、私はかくしきれぬ涙の中に筆をとつて、何もかも心の中につもる思ひを打ち明けます。どうぞ兩親とも思ふて御相談する私をよきにお導き下さいませ。

申し上ぐるもお恥づかしい事ですが、私の家は此片田舍にも稀な貧乏なのでございます。

そして兄弟と云へば至らぬ兄と私と唯二人でございまして、父母は最う七十才に餘す處僅かになりました。あゝどうしたら良いやら考へに考へを重ねた結果、私は自活の道を立て度いと決心しました。少し思ひ切つた勉強をし度いと思ひましても、貧しい我家の有様を思ひ又、年老つた父母を思ひ、多くの學費の入る勉強はとても出來ないとあきらめて、思ひ切つて看護婦になりました。

丁度昨年十一月福島市立病院に補缺で入學致しましたが、この前申上げましたやうに、急に父母の許に呼ばるゝ事になりました。今までの希望も苦心も一時に崩れて私は悲しくてなりません。兄は今東京に出て望み通りに勉強してゐます。生存競爭の烈しい今の世にたゞ凝と貧乏な我家に暮らして居ては到底幸福の道にはすゝまれません。充分な學費を得て勉強しやうといふのではなく、唯自分一人の力で苦學し度いと思ひましても、それすら出來ない哀れな運命に身を束縛されて居る私でございます。先生唯ぼんやりと此のまゝ過

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

しましたら私の行末は不安でなりません。こんな貧乏な家に生れた愚かな者を財産家に世話して下さる人もなく、又財産家から貧乏な家に御世話下さる方もありますまい。それで私はどうかして少しなりとも、才智や行ひで身を飾り度いとの希望でございます。只今は裁縫などして暮して居ますが、やつぱり裁縫して居りましても何やかと考へて、針の手もはたと止んで居る事が幾度か知れません。私は都に憧れたり、虚榮に憧れたりするのでは、決してありません。只こうして無駄な年を重ねてしまうのが悲しくてなりません。

記者のお答へ

こんどのお手紙を拜見致しましてあなたの御心持がよくわかりました。どうかして苦しいあなたの御心を慰め又、あなたが幸福な道に向つておすゝみになるやうに、心の底から祈りつゝ、記者はあなたに對する考へを申上げます。貴女の御苦しみの原因はお家が豐かでないのと、御兩親が年を老つてゐらつしやるといふ事でありまして、その心細さ、頼りなさからのがれ度いといふ一心が、今のあなたの全てを掩ふて居るやうであります。御無理もない事です、貧しい家に老いたる父母を守る心細さは到底普通の人の想像出來ない事で、勉學を志しても學費がなく、一日一日と衰へ行く父母の有樣を見た時、淋しさ悲しさのあまり絶望するのは尤もの事であります。然し人の幸福は物質上の貧富で定まるものでなく、其人の心の平和にあると思ひます。ほんとに平和な心をもつて家内が互ひに睦まじく暮しましたら、幸福の光は藁屋の軒の破れ目からでも輝きを見するものであります。聞けばお兄樣が東京で修業して居らつしやるとの事、もしあなたまでが故郷を後に、七十に近い御兩親のお心にそむいて家をお離れになりましたら、御兩親の朝夕の御世話はどなたがなさいますでせう。記者は自分の兩親が見離されたよりも悲しく思つて、年とられた御兩親がお痛はしくてなりません。世の中といふものは陰と陽、裏と表によつてあらゆるものが形づくられて居まして、男女もやはり其の各々に適した役目を果すやうにと神が作られた自然の造化であります。

丁度お兄樣は表から、あなたは裏から立派に笠原家が榮え發展するやうに努力するやうに神より給はつた御兩親の寶であらうと思ひます。さうです、お兄樣とあなたは御兩親にとつて玉にも黄金にもかへ難い寶なのです。それでお兄樣が男らしく困難と闘つて、修業なさるのも御兩親にとつて、有難い寶であれば、又あなたが心細い御兩親の朝夕を慰めて勉學中のお兄樣に故郷の家の事に就いて心配かないやうに、確乎とお家を守つて居らつしやるのも、御兩親にとつて得がたい寶であると思ひます。どうしてもお家の幸運は表から努力なさるお兄樣と、裏に廻つて後の憂ひのないやうに、固く家を守る貴女のお力によらればならぬと思ひます。「私はどうかして少しなりとも、才智や行ひで身を飾り度いと思ひます」と仰有つたお言葉をお忘れなく、どうぞ御兩親に孝行をして、天晴父母の寶となりその行ひの美しさを以て、身を飾つて下さい（ひろの）

處女に光を與へて下さる御誌

群馬縣　島田ゆき子

金山の松のみどりも色ふかく
榮へある春になりにける哉
春の光と共に全國の處女に光を與へて下さる御誌の

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

發展を赤誠こめて祈ります。強く優しくまじめに働けほんとうに有難い御教へです。この教へを守つて、希望の山を仰ぎつゝ一歩一歩正しい道に進んで行き度いと思ひます。先生どうぞ御導き下さい。

天野先生が私の學校へお出下さいました時は、私は叔父の家に手傳ひに行つて居まして、少しも存じませんでした。後になつて聞いて本當に殘念でした。私は丁度二ヶ月學校を休んで同じ組の方にずいぶん後れましたが、先生のお計ひでやつと同じ位になりました。唯今帶が二本だけ後れて居ますので、一心に勉强して早く追ひつき度いと思ひます。

十二月十日から、學校で徽章を用ふる事になりました。高山神社で紀念の寫眞をとり、茶話會をして樂しく家に歸りました。先生私は此頃幾分か强情がなほつたやうに思ひます。そして毎日の仕事が樂しく出來るやうになりました。これも御誌のおかげと喜んで居ります。

栃木縣上都賀郡より

栃木縣上都賀郡役所 青年團處女會係 山中淺一郎

大正も十年となりました、もうぐずぐずして居る時代ではありませぬ大いに覺めて女子も活動しなければならぬ時となりました、オ、心の躍る春は來たのでありませんか、梅の咲く、櫻の咲く、桃の咲く……。あの可愛らしい蝶々は處女の前途を祝福してゐますよ、日光で名高い我が郡でも大正十年度は處女會も白熱的活動に入ります、郡下二十一ヶ町村に全部處女會が設立され十一年のお正月を芽出度迎へたいと思つております、今年度の計劃としてはいろいろありますが、工場處女會も是非設立したい考へて居ます、尙農村處女會の事業として左記事項のやうな講習會を開催して見たいと思つております參考の爲めにお知らせいたします、

處女會一日講習會規約

一、午前九時開會
順序、一、來賓、講師、會員着席、二、伊勢大廟、宮城遙拜、三、開會ノ辭四、君ケ代二回五、勅語捧讀六、講師挨拶七、來賓祝辭、八閉式
二、十時ヨリ十一時マデ　講話（精神的方面）
三、十一時ヨリ十二時マデ　會食ノ炊事
四、十二時ヨリ一時マデ　食事（講師、來賓共ニ）
五、一時ヨリ二時マデ　講話（裁縫、作法、衞生、料理、結婚、育兒其の他處女に必要なるもの）
六、二時ヨリ三時マデ　會員ノ懇話
七、三時ヨリ四時マデ　茶話會餘興（淸新なるもの）
八、四時　閉會
○注意會員ハ白米二合野菜若干茶話會費三十錢持參のこと

◎懸賞工夫文

次の文字を組み合せ。（順序はどうてもよろしい）小品文を作つて下さい。但し全體の文字が五十字を越してはいけません。

處女　椿　風　下駄

締切　三月十二日（用紙はがき）
始めに工夫文とかいて下さい。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

處女文壇

賞　水仙の花

香川縣　石川もと子

今日は母の命日だ……私は咲殘りの山茶花を手にして、見渡す限り枯野となつた野道を辿つた。美しい七草に飾られて居た畔も細道も霜が降つて眞白になつて居る。寒さ身にしむ山颪に息をはずませ乍ら墓地へ急いだ。あたりに通ふ得ならぬ匂ひに、ふと見返ると淸く爽やかな水仙の一もと、寒さにまけず、氣高い姿で咲いて居るあゝこれだ、先生方が常々お敎へ下さる會訓の花は。華やかな色彩もなく、何の飾りもなく純白に包ふこの花は、全く強くやさしくまじめに働く田舍娘の表れだ、……霜や雪の中で、木枯と戰つて、我身を守る此花は、さぞや人知れぬ淚もあれば嘆きもあらう。その苦しみを見せもせず、幸福らしい顏をして咲いてゐる。實に我等の手本とすべき花、強く優しくまじめな花。

評　處女會と水仙の花何といふ好い例でせう

賞外　思ひ出

靜岡縣　風岡富士子

春の養蠶もすつかり片付き、うららかな太陽は西にかたむき靈室の前の高き松ヶ枝の先に平和な光りを殘して居る午後……年より老けて見ゆ母の額に小じわの漂へる……にこやかに運びし針を置き側らなる祖母に「今年の六月は恰度十七回忌になりますれえ！」「アヽもう十七年たつれえ早いものだ」「ザッと塔婆でも樹てゝ置きませうか？」「そうされ……まあお祖父さんの言葉次第さ」「……」……言葉は切れて、母は又せつせと針を運ぶ、姉は本家に行きしまゝ未だ戻らず、……松ヶ枝にありし光も何時しか失せぬ………噫かく語りし日も夢と過ぎて、平和な次の春は再び來りぬ、されど來らぬは過ぎにし日よ……思へば今を去る十八の昔父は近歩陸軍軍人にてありしも折柄日露の戰爭のため出征、常陸丸にてつきぬ恨を玄海なだに殘して、不歸の途につき給ひし……時母は廿二歳姉は漸く三つ片言まぢりにパパよママよと云へるのみ……此の身は母の胎内に有りて世の憂きも父去りし悲しみも知らざりし……歳月積りて十八ヶ年とはなりぬア、祖父母よ母よ無長かりしならん十八ヶ年11知らし召さず慈愛の本に育ちし兒の幸あれかしと祈り居るを……

祈り

岐阜縣　吉田千代子

夕暮が、潮のやうにやきあがつてくると、尼僧は靜かに鐘樓の重い扉をあけて、その薄明の中に垂れ下つた綱の端を、華奢な手にからませた。そして、片手で十字をきりながらしばらく默禱するし、かろく綱の手をひいた。

眞靑な綠靑の滴る鐘は、ゆら〳〵と揺れた。……尊くもまた嚴そかな鐘調は、しばらく低い尖塔の中を渦卷いて、やがては水のやうにあたりに流れ出た。その靜かな響きに、じつと耳をすましてゐる、尼僧の蝋のやうな頬には、聖らかな紅色が、ほのかにも匂つてゐた。

電報配達夫を見て

神奈川縣　小菅柳美

空は怪しく曇つてチラホラと雪さへ混りて北風はいたく身にしみた、僕ば獨り何考ふるとも無く病院に居る姉を思ふて、淋しく家路を急いだ。日は暮れかゝつて道を通る人もハタと止んだ。

フト鈴聲勇しく自轉車に乘つた人は僕を通り越へてヤッ……しまつた。今の人は慥かに電報配達だ。ー姉は危篤なのだらうか？……

僕は思はず叫んで驅け出した、父は今朝病院に行く時平穩ならば一泊して歸るが若し病勢に變りが生じたらすぐ歸る、又歸ることか出來なければ電報を打つから留守中は家の事に氣を附けてくれと繰り返して言ひおいて行つたのである。これは多分病勢が思はしくないのだらう。

……麻の如くかき亂れた小さきハアトを押し沈めて再三默思したけれど近所に病人はない、それであるのに電報配達が此の道を入つて行つたのであるから必ず僕の家に相違ない、ー僕は尙一層吐息をついて走つた、家に入るとすぐ「電報が來たか？」と尋れた。「えいきません」「では父は「お歸りになりません」と下女は答へた。

あゝよかつた……僕は漸く安心した。恐怖と言うか、僅か三十分の間に僕の心は奔馬の如く東西に走つたのである。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

處女歌壇

（賞）天

み佛の功德ときます我母の御年かぞへて泣きし夜かな
岐阜縣　安藤さゝの

評　ひたすらに佛にすがる母人の清き心をまれび給ひれ

地

小さき手を湯にひたしては靜やかに顔洗ふ子の可愛ゆかりけり
愛媛縣　すみれ

評　かくしてと敎へし母の手つき見てすなほに洗ふいとし幼な子

人

寄宿舍のくらき灯影に吐息しつ折れたる針をしばし見つめぬ
神奈川縣　酒谷すゑ子

評　みつめたるその眸には父母を慕ふ涙のあふれてやあらん

（賞外）

淋しさの我に湧く時夕暮に音もしづかに雪の降りくる
埼玉縣　今泉あさ子

父醉ひて母と爭ふ冬の夜を悲しく一人涙ぐむなり
福島縣　生江哀涙子

棄てられてふみにぢられし母子草恵みの雨に息づけるかも
宮城縣　白　鳥

筆すてゝ亡き母戀ひて思ひ入る夕べ淋しく雨のふるなり
神奈川縣　小澤ひろ子

人故に生きんとすれどせんもなし病重らば絶ゆる玉の緒
岐阜縣　吉田千代子

のどかなる春の遠空眺むれば清き流れに花の香のする
山形縣　澁谷萬太郎

いつしらず無盲のうちに目をとぢて物思ふ子と我なりしかな
福島縣　土屋しの子

路行けば今朝は晴れたり清らかに我がかげ動く雪の上かな
富山縣　宇田　薫子

針はこぶ母の姿の老ひたりな父亡き後の思ひつのりて
福島縣　渡邊とよ子

亡き父と語りし夜半の夢さめて淋しく窓にひゞく木がらし
長崎縣　長岡　滿惠

放課後の友のさゞめきよそに見て老母のもとに歸りゆくなり
福島縣　二瓶きのい

山里に夕さり來ればをちこちに淡き灯火木の間より見ゆ
神奈川縣　山口　孝子

何事もしばしわすれて老松の梢の雪をながめつるかな
山口縣　清木　菊子

母なくて十九となりぬ伯父伯母の情けに我は育くまれける
愛媛縣　橋本　澤代

久にして家に歸ればもみすりの音なつかしく慕る、秋の日
埼玉縣　柴崎いく子

風の日を友に送られ停車場の待合室に語る淋しさ
群馬縣　橋本登久子

姉上と呼ばんとすれば夢さめて姿消えにし夜半の悲しさ
釜　山　酒井八重子

母のなき不幸の友の便り見て涙ぐまれぬ冬の夕べに
香川縣　野田加壽枝

日の暮れの早きをかこち母上は暗き厨に葱をきざむも
群馬縣　山口　艶子

父の死を母に語られ我が胸にわき出る涙母にかくして
神奈川縣　井上　米子

我家の貧しさ思ふ弟の幼な心のいぢらしき哉
群馬縣　柳岡いく子

夜半の鐘聞くにつけても我が身には哀れ一入まして寂しき
愛媛縣　鈴木　靜子

芝山の中よりわらび萌え出でゝ此の山里に春は來にけり
愛知縣　今井しげ子

ほの〴〵と曉つぐる其頃にわら屋の中に鷄のなく
北海道　山本かめの

枕邊の我をながめていとしくも涙ぐまれぬ病める母びと
山形縣　設樂　千芳

夜ふくれど靜かにゆらぐ灯の影に衣縫ふ乙女此の身は
群馬縣　大澤　芳野

雨の夜の田舍の宿の窓越に遠き山べの火の燃ゆる見ゆ
東京府　大久保國子

別れたる心淋しく海に出づ風は吹けども君の聲なし
福島縣　無　名　女

荒れはてゝ住む人まれの山寺の庭に淋しく白梅の咲く
埼玉縣　小熊たみ子

いづくより流れきにけむ我前を山茶花幾ひら浮び行くなり
靜岡縣　古郡　花子

物思ひ誰に語らむ由もなく月にむかひて涙こぼしぬ
北海道　内海千代子

亡き兄のかたみの指輪しかとはめ墓に詣でゝ香花たむけむ
長野縣　黃　菊

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

吹く風の今日は靜かに飛ぶ鳥の羽も輕げに空はあけゆく　鳥取縣　角　こう子

枯れ芒葉裏かへして雪空の吹く北風にさゝやけるかな　神奈川縣　小菅　柳美

ふくろ夜に兄の歸りを待つ暇に心靜かに處女の友讀む　群馬縣　岡崎その子

母と二人柴からんとて來し山の谷にひゞける鶯のこゑ　三重縣　高本　繁子

草のとげ小指をさして血の出でし紅絹に包みし指の痛みよ　宮城縣　富塚ときわ

靜かなる日曜なれば師の君を訪ひてもみたくなりにける哉　群馬縣　夢　見　草

新らしき障子にぬくき冬の日を背にうけつゝ針をはこびぬ　栃木縣　山中とし子

なつかしき去年の初雪思ひつゝ火鉢によれば心のどけき　滋賀縣　田原しづ子

大方の人は行き得ぬ山道を雪踏みわけて行くぞたのしき　岩手縣　菊地　繁子

東吹きて梅も櫻もさかりなる我が山里の春はたのしき　福島縣　白　百　合

鶯の宿るを待ちて我庭に梅の幾ひら包ひ初めけり　香川縣　小竹　芳枝

老ひ給ふ父母の笑顏を命にて我を忘れてこの世行くなり　鳥取縣　小原　繁子

起き出でゝ雨戸開けば白銀の世と變りたる冬の朝かな　北海道　萩原千代子

父母の御影ながめて淋しくも文を讀むなり燈火のもと　福島縣　大内こと子

初春の淸き光に梅の花ほころび初めて鶯のなく　和歌山縣　石井えい子

枯れ果てし梢の烏淋しくも一こゑ泣きて遠く行きけり　福島縣　土沼たまよ

門毎にたてたる松のかざりには千代のみどりの色ぞ見えける　神奈川縣　すいせん

道のべの千草の影に泣く虫の聲も止みけり秋のあけがた　香川縣　矢野あさ子

病床の父を思ひて妹と涙の眸合す淋しさ　香川縣　田岡美津子

時折に都の空を眺めては押へし胸のとゞろきを知る　福島縣　本名　幸子

處女俳壇

賞

山寺に咲くや紅梅二つ三つ　千葉縣　越川てつ子

椽に寢る猫の目細き眞晝かな　鳥取縣　角　こう子

賞外

から風やうなるは裏の竹の籔　福島　二瓶きのい

梅かほる窓に機織る乙女かな　群馬　藤倉きん子

まゝごとの乙女の座敷花吹雪　福島　生江哀涙子

その色は妖女に似たり花椿　愛知　今井しげ子

水仙の色の亂れや籔げしき　岐阜　安藤さゝの

休み日に駒をもつれて花見哉　山形　澁谷萬太郎

停車場のうづみ火消ゑて夜は寒み　福島　土屋しの子

雪とけて少し見えたる菁菜哉　神奈川　山口孝子

水仙や風にゆられて右左　三重　高本　繁子

われも又春の人なり桃の花　宮城　白　鳥

春雨にぬるゝ親鷄子鷄かな　岐阜　吉田千代子

武藏野の芒そよぎて雁のなく　神奈川　小菅柳美

水仙や讀みさしてある處女の友　神奈川　酒谷すえ子

初午や若き娘の赤襷　東京　森川　光平

少年のあひる守りする冬の暮　愛媛　す　み　れ

湯上りの素足冷たき粉雪哉　東京　大久保國子

夜をさむみ小猫なき寄る膝の上　神奈川　小澤ひろ子

雪の野に影面白き月夜かな　長野　熊谷ひろみ

日はうらゝ我かげ動く雪の上　富山　宇田　燕子

初稽古寒風を切る竹刀哉　群馬　岡　崎

かげらふや麥の中から雲雀哉　埼玉　岡田　保市

鳥鳴いて木枯寒し冬の朝　福島　鈴木としを

一寸出て氣の向くまゝに若菜つむ　栃木　山中とし子

母樣と叫ぶ子供や今朝の雪　岩手　菊地　繁子

夕ぐれや靜かにひゞく鐘の音　岐阜　物　名　女

初雪や社頭の杉の神々し　福島　本名　幸子

梅かほる緣に小鳥のしらべ哉　神奈川　金子貞子

賤が家の門松照す初日の出　群馬　柳岡いく子

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

誌友くらぶ

はがきに限る一人一信のこと遲れた方は次號

△「暑さ寒さも彼岸まで」ほんとによい氣候になりました。皆さん相變らず御機嫌よくて結構です。誌友くらぶも月毎に盛んになりまして、皆さんと親しみが深くなつてゆくのがうれしくてなりません。（記者）

○私は學校から歸ると、いつも姉さんの机に重ねてある處女の友を拜見いたし、學校以外の新智識を得る事が出來ます。（群馬縣佐波郡　橋本たけ子）

○記者樣初め誌友の皆樣には、さだめしお變りなき事と存じます。當方處女會員一同無事ですから御安心下さい、どうぞよろしくお導き下さい、（福島縣大沼郡川路村　白百合）

○一月號よりの表紙、ほんとに氣に入りました、寒い北國の私は一度みかんのなる暖かな國に行つてみたいと思ひます。四つになつた友子さんの目ざましい發展ぶり、始めから終まで滿載された有益な記事、記者樣に心からお禮申上げます、仙臺の操子さま、何番地でいらつしやいます、（宮城縣石越村　あい子）

△暖いお國にいらつしたら、あなたもお丈夫におなりになりませうにねえ（記者）

○大變お寒う御座います、記者樣始め誌友の皆樣お變りありませんか四國の片田舍に住む、處女で御座いますが、昨年の十一月より御誌の愛讀者となりました。皆樣どうぞお導き下さい。（愛媛縣東宇和郡田之筋　伊藤敬子）

○私は香川縣の田舍者でございます、去年三月三日を初めとし、處女會を開かれまして、私等に取り此上もない喜びでございます。（香川縣三豐郡五鄕村大字井關　佐伯カツ）

○毎號ながら臺所手引は有益に拜見致します。折々實習して見ますとほんとに奇拔な物が出來ます。どうか今後も田舍で出來る、手輕なお料理をお載せ下さい、沖元艶子樣、石井榮子樣、高木比佐子樣、山下惠美子樣、大内さめ子樣、お慕はしう存じます。どうぞお手紙下さい（鳥取縣西伯郡春日村　小原紫子）

○私は停車場に二十幾里といふ田舍に住む、處女の友の愛讀者でありますが、私には處女の友が、何よりの友なのです。それだのにまだ代金切れとなりませんのに雜誌が參りません、早く送つて下さい（福島縣南會津伊南村大字古町　大桃フミエ）

∧ほんとに申譯ありません（記者）

○誌友の諸姉樣にはお變りなくてうれしうございます、一月號を手にした、私のよろこび本年のふさはしい美しい表紙に先づ目をみはり、朝の眠たさもわすれて讀み終りました中にも青年處女相互番付ほんとに面白く拜見いたしました（和歌山縣　石井えい子）

○きびしいお寒さで御座います、何處をながめても銀世界、たゞ寒い寒いと炬燵にもぐり込んで居ます、越後の人は毎年四ケ月ばかり生活しなければなりません、雪の少ない國に住む人がうらやましうございます（新潟縣刈羽郡石地町太田　吉川せき子）

○天野先生御嫁入に後れたといふ娘さんに、私は何度讀んだか知れません、私も同じく婚期に後れてなやんでゐます、（香川縣三豐郡　田岡美津子）

○記者樣誌上の皆樣私は昨年十一月敎育勅語下賜三十年式を記念として、愛讀者となりましたどうぞよろしく、（福島縣南會津朝日村　本久幸子）

○「強くやさしく眞面目に働け」あゝなんと頼母しい語ではありませんか、私たちはどうしてもこの尊き女神の御聲を守らなければなりません（岐阜縣吉城郡神川村　梶田とみ子）

○同縣の月見草樣、先月號でお優しいお言葉有難う存じます、どうぞ御本名おもらし下さいまして、末永くお交り下さい、（香川縣川豐郡大野原村　石川もと子）

○私は此の清き優しい處女の友を拜見致します樣になりましてから、一生懸命になつて働いて居ます。（熊本縣葦北郡津奈木平國　吉野あい子）

○記者樣お變り有りませんか、私は去年三月から御誌を友として働いて居ます、誌上の皆樣お交りを願ひます、（山形縣西村山郡大字陸合　設樂千芳）

○諸先生樣始め誌友の皆樣、僕は廣い武藏野に棲む青年ですが處女の友の愛讀となりました、男でも誌友になれるでせうか？（埼玉縣北埼玉郡騎西町　岡田保市）

∧さあひとつみなさんに相談してみませういゝと存じますが、（記者）

○一月號の誌友くらぶで承りました千葉かよ子樣は秩父郡のお方で御座いませんか、（京都府下　荒木ちゑ子）

△ちがひます、（記者）

○月毎に賑はしき倶樂部、其他有

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

益なる記事、何よりうれしく拜讀致して居ます、(長野縣下伊那郡山本村 鰤澤みつほ)

○私は滋賀の一農家に住む處女でございます、昨年實業補習學校に入學致しまして、四月には三年となります、本年の二月から處女の友の愛讀者となりました。皆様のお仲間入りをさせて下せい、(滋賀縣蒲生郡市邊村字糠塚 野矢花)

○平和な田園に生くる身を感謝しつゝ、仕事に餘念なく毎日を送つてゐます、御誌の內容の平和さに私は前からお仲間入りをし度いと思つてゐました、宮城の愛子様おなつかしうございます、(群馬縣佐波郡剛志村大澤芳野)

○酷しきお寒さのお障りもありませんか、記者様種々お導き下され有難う存じます、(埼玉縣兒玉郡東兒玉村 原田とよ)

○私は片田舍の農家に、御誌を無二の親友として、朝夕樂しく暮して居ます、皆様よろしく〱、(香川縣木田郡氷上村 小竹芳枝)

○記者様お變りございませんか、此度は美しい繪葉書有難う存じます御禮のしるしに地方の繪葉書お送り致します島根の山根ふさの様おなつかしう存じます。(島根縣能義郡布部村 岡部千代子)

○春も近づきました、青春の血は燃えます、「當つて砕けろ」深思熟慮すると共に決行の速やかならんことを望みます。(神奈川縣高座郡小管伊太郎)

○先生習字は六字ときまつて居ますと、書き悟くてなりません、それから作文の處に口語詩を出していけないでせうか、(神奈川縣足柄郡櫻井村 小澤ひろ子)

△隨意投書として御出しなさいませ(記者)

○一寸お伺ひ申します、種々の雜誌は大てい廿日前頃發行になるのに處女の友は其の十日の日頃までかゝります、私は待遠くてなりません(保土ケ谷 高田かつ子)

∧處女の友は一日發行ですから毎月一日前に着くやうに發送して居ますが、十日頃まで御手に渡らないとは不思議な事です何かの間違ひでせうか(記者)

∧樂しい春も近づいて參りましたれ、北海道の農家では、種えらびの最中です、去年の今頃弟等と坂すべりをして、大きなきずをつけ皆に笑はれましたわねゝ(內海千代子)

○記者様始め誌友の皆様私も一月號より愛讀者となりました、お見捨なく御交際を、(東京府下 森川光平)

○私は田舍の一處女であります。十月より本誌の愛讀者となりました濟き誌上でお導き下さい、記者様の御健康をいのります、(福島縣河沼郡若宮村 宮田登代子)

○私は去年の十二月號より御誌を愛讀して居ます、毎月有益な御誌を唯一の友としてゐます、(福島縣大沼郡西川村川井 森田シマヨ)

○私は一昨年の八月から處女の友を愛讀してゐます、毎月有益な記事ばかり拜見して樂しく働く事が出來ます、(兵庫縣多紀郡大芋村 山崎やな子)

○皆様お變りありませんか、私も處女の友の愛讀者になりましたからよろしく(岩手縣東磐井郡澁谷村 菊地繁子)

○私は片田舍に野の幸を歌ひながら、田園生活を樂しみ、其日其日を暮して居る一處女であります、何卒よろしくお導き下さい。(岐阜縣武儀郡上麻生村 加納たじ子)

○皆様年が變ると共に、一層强くやさしく眞面目に働かうではありませんか、神淵村中切の四田しづゑ様同村にておなつかしうございます。(武儀郡神淵村 笠井絹枝)

○のどかなる花見の節も近づきました、記者様はじめ誌友の皆様お變りはありませんか、宮城り牟岐愛子様、府下の田村百合子様、島根の山根ふさの様お懐しう存じます、末永くお交り下さい、(福島縣河沼郡千唉村 小柴房野)

○天野先生先日は雪の中も御いとひなく御遠方からお出下さいまして嬉しう存じます。先生がお聞かせ下さいました、お話を家に歸つて兩親を始め、皆に傳へましたら非常によろこびました、誌友の皆様よろしく(岐阜縣武儀郡金山町 佐古かずゑ)

○群馬の對比地こう子様白萩様前號ではみ優しいみ言葉、有難うございました、橋本登久子様鈴蘭は私の匿名です、大原靜子様同縣同名でお懐しう存じます(愛知縣 鈴木靜子)

○私は群馬縣の一農村の處女で有ります、昨年二月より處女の友の愛讀者となりました、處女の友を讀むのが唯一の樂しみであります。(群馬縣 淸水いく子)

○處女の友一月號ほんとに面白く拜見致しました、先生方のお骨折下さるのを深く感謝いたします、益々御誌の發展をいのります、又美しい繪葉書有難うございました、(群馬縣近藤みよし)

○私は會津の大沼郡氷玉岡村の處女會員でありますがつい先頃川路の會員の方に送つて頂きまして、私達農村の處女會員におすゝめして、みんな眞面目な愛讀者となるやうにしませう(福島縣大沼郡氷玉岡村 鈴木とした)

○一月號の御誌を開けばまあ少しも的にして居なかつた拙い俳句が當

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

になつてゐまして、私はほんとに嬉しうございました、厚く御禮申上げます。（石狩　太刀川たつ子）

○記者樣始め誌友の皆樣お變りはありませんか、私は初めて投書いたしましたからよろしく御交際下さいませ、（香川縣仲多度郡垂水村　古市ひい子）

○記者樣始め誌友の皆樣お變りもありませんか私も無事に暮して居ます、（福島縣石川郡母畑村大字母畑字東　鹽澤のぶ子）

○淋しい山家にも春は訪れました會員の姉樣方にはお健やかにいらつしやいますか、山形の殿樂千芳樣御手紙下さいまして厚く御禮上げます（群馬縣新田郡九合村對比地こう子）

○天野先生には無事に御歸京なさいましたか、お伺ひ致します、先生には我等農村の乙女として爲になるお話有難う御座いました。（武儀郡麻生村　正女會員）

△雪の村々を巡講して歸京後は風邪で暫く床に就きましたが、もう快くなりました（あまの）

○記者樣私は山間に住む處女會員でムいますが、昨年三月から處女の友の愛讀者となりまして、父兄弟を失つた私は何よりの慰めでございます、天野先生、記者樣どうぞお導き下さい、（神奈川縣津久井郡內鄕村一處女）

○わきがはどうしたら根治しませうか、腋の下からあぶらを取ると根治するといふ事をきゝましたがどこでさういふ療治をしませうか、お教へ下さい、（福島縣　森田利光）

△わきがはなか〳〵根治は困難ですが燒明礬をぬりつけるとよいさうです。兎に角清潔にするといふ事が必要です。

○萬花一時に咲き亂る――やがて春雨がしめやかに降りそゝぐ――すべてのものがずん〳〵と發育する噫私はぢつとして居られない、何かしなければ……（岐阜縣武儀郡吉田村吉田千代子）

○お寒さの折からお變りもありませんか、變化の少い田舎で處女の友を唯一の樂しみとして、月日を送つてゐます。美しい繪葉書をお送り下さいまして有がたうございました、（山口縣都濃郡長穗村　清木菊子）

○諸友の諸姉樣、いつもながらみ優しいお言葉有難う御座います、私の樣な不束者をと嬉しさに胸が高鳴ります、此の後も妹と思召してお交り下さい、（東京府下吾嬬町請地二〇田村百合子）

○中央部の諸先生にはお變りはありませんか、母も兄弟もない私は處女の友を唯一の友として、常に感謝して居ります。愛子樣登久子樣よさ枝樣いつも御無沙汰ばかりですけれど御免遊ばせ、又岐阜の田口若子樣は其後どう遊ばしたのでせう、（伊豫のさわ代）

○私は兄が讀む帝國青年で、御誌のある事を知り昨年十二月から愛讀者となりました、よろしくお導き下さい、（群馬縣佐波郡豐受村　藤倉きん子）

○私は實業補習學校に通つてゐます、小說友情の靖代樣ほんとに感謝の涙をこぼしました（高知てみよ子）

○表紙も大層美はしくなりました內容もだん〳〵有益になつて行く事は本當に嬉しう御座います、來月號の來るのが待遠くてなりません、（會津にて　生江哀涙子）

○餘寒きびしき折から皆樣お變りありませんか、橋本樣、小原樣、渡邊樣、どうぞお導き下さい、（宮城の常磐）

○僕も神奈川縣の小宮伊太郎君と同じやうに處女の友の愛讀者です、どうぞお交り下さい、僕は羽前出羽の三山で名高い羽黑山の麓の者です（山形縣田川郡本榮村添川　澁谷萬太郎）

○記者樣我が家の不幸の爲に新年のお挨拶も申上げませんで誠に失禮いたしました、近藤樣、大山樣お變りない事と察します、不幸な我が家は母逝きてより三ケ年又兄を失ひました、（猪苗代湖畔にて詩の花）

△ほんとにお氣の毒ですれ（記者）

○私は片山里に住む處女の友の愛讀者でございます、毎號有益な記事をおのせ下さいまして、記者樣に感謝いたして居ます。誌友の皆樣濟き誌上でお交り下さい、（神奈川縣津久井郡石老山下　山口孝子）

○松江の米田つろ子樣、信誠會の千葉かよ子樣、同縣の小林卷代樣おなつかしうございます、どうぞ永くお交り下さい（鳥取縣西伯郡渡村門脇みつ子）

○私は昨年の十二月から處女の友の愛讀者となりました、誌友の皆樣どうぞお交り下さい、（三重縣南牟婁郡神志山村　高本繁子）

○小林卷代樣お言葉ありがたう、どうか私こそかろしくお交り下さい宮城縣下の愛讀者の方々おふろひ下さい、山田川りく子樣のお話大賛成です何卒お仲間に入れて下さい、（宮城石越　たかを）

○赤い夕陽を凝視する時おやさしい皆樣がひたすら戀しくなります、そつとお名前を呼んで見ませう……ときわ樣、あい子樣、澤代樣、こう子樣、たづ子樣、たかを樣、みよし樣その子樣、柳岡樣、山下樣言葉有難うございました、（群馬　登久子）

○記者樣を首め誌友の皆樣お變りはございませんか、私は埼玉縣の田舎に住む處女です、宮城の二階堂樣鳥取縣の小原樣お慕ひ申してゐます（埼玉縣北埼玉郡騎西町　今泉あさ）

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

○私は北海道の片田舍の一處女で御座います。昨年十月當村處女會に入會以來御誌の愛讀者となりました、何卒宜しくお願致します、花の都の記者諸先生様を始め誌友の方々には別にお變りも御座いませんか、(北海道上富良野　酒井文子)

○段々暖くなり庭の梅もほころび初めました、私は愛知の田舍に住む一處女でございます、日々鍬を手にして鍬を持つて樂しく田園生活を樂しんでゐます皆様どうぞお導き下さい。(愛知縣四尾町字熊味　佐野やすゑ)

○私は淋しい三春の町に住む一處女でございます、私の町にも昨年の十月處女會の發會式がございましたそれからは月々修養會も御座いますが私も二月號より處女の友愛讀者の一人となりました、よろしくお願ひいたします。(福島縣田村郡三春町　佐々木千代子)

○記者様皆様お變りはありませんか、私は毎日悲觀して居ましたが、先生よりのおすゝめで一月號より親しく愛讀者となりました(福島縣大沼郡藤川村　根本キヌイ)

○記者様初め誌友の皆様御機嫌よろしうございますか、私は富士山の靑き姿を眺めながら淋しく暮らす者でございます。處女の友を無二の友としてゐます、どうぞ諸姉様お導き下さい。(靜岡縣庵原郡内房村　風岡富士子)

○暖くなりました、記者様にはお變りありませんか誠にすみませんが處女會の歌を敎へて下さい。(埼玉縣一讀者)

△住所と名前をお知らせになればお送り致します(記者)

○二月號から愛讀者になりました誌友の皆様何卒お交り下さいませ、九合村の對比地こう子様もしや私の親類ではないでせうか、御名前やお作を拜見してなつかしくなりました(群馬縣佐波郡　榮子)

○記者様はじめ誌友の皆様お變りもありませんか、私は會津の片田舍に住む一處女で昨年二月から愛讀者でございます、何時も有益な記事のみ厚く御禮申上げます(福島縣大沼郡藤川村　大竹たけお)

○私は昨年十一月から誌友となり私の村にも益々本誌の愛讀者が多くなりました、末筆に本誌の發展を祈ります。(鳥取縣西伯郡中澤村　松本みどり)

○皆様お變りありませんか、私は信州の高原に樂しい日を送つて居ます。末筆ながら誌上にてお導き下さい。(信濃にて　瀧澤やよ子)

○私は大正八年四月より處女の友を愛讀するやうになりました、記者様及び誌友の諸姉様よろしくお導き下さい。(香川縣三豐郡大野原　大山須惠子)

○私は十五歳の尼僧であります、誌友の皆様どうぞお交り下さい。(島根縣簸川郡大津圓光寺　石川秀温)

△これから御修業なさいまして、氣高い心の持主となつて下さるやういのります。(記者)

○私は去年二月より御誌を無二の友として樂しく働いて居ます、皆様よろしくお願ひ致します。(島根縣大原郡　伊津野)

○諸姉様には處女の誌友上でお振ひ遊ばすのを嬉しく思ひます、増田様御作に感じ入りました、實に外見の美よりも心の美が尊いと私も常々思つて居ます。(香川縣仲多度郡垂水村字下所　渡邉ますゑ)

○天野先生御厚情を以て御導き下さいます妹よそ枝の結婚に際し、御親切な御祝給はり、家内一同有りがたく存じました。(岐阜縣武儀郡坂ノ東村　竹腰よさ枝の姉)

○私は處女の友發行以來一部ももらさず拜讀して居ます、佐波郡の柳岡いく子様あなたの御賢明さ伺つて居ますどうぞお交り下さい(群馬縣勢多郡木瀬村　石原ひさ)

○私は毎月處女の友の有益な記事を嬉しく拜見いたしてゐます、何卒記者様よきにお導き下さい。(福島縣山根靜枝)

内容見本無代進呈
小野鵞堂習字雜誌
書道研究
本月號出來
文部大臣許可社團法人 斯華會 東京神田猿樂町三

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

編輯だより

△ひなのまつりと桃の花ほんとうによい對照ですれ、そして處女會はひなにたとへ、花にたとへらるゝとも思はれます。三月を期していよ〳〵處女會の發展に盡さなければならぬと、私共の任務の重大な事をしみ〳〵思ひます。

△皆さんが地方の有樣をよくお知らせ下さいますので、編輯部でも非常に參考となります。栃木縣上都賀郡山中淺一郎樣、岡山縣英田郡福島正道樣も御熱心に御援助下さいますので、中央部一同感謝してゐます。

△埼玉縣金町淑女會會報は大變よく出來て居ると思ひました。

△作文でも和歌でも俳句でも御投稿が增加して、編輯の机上が賑やかになりましたます〳〵智識の發展にお勵み下さい。

△皆さんは處女會中央部にとつては、なつかしい友であり愛すべき妹であります。若し煩悶や、苦痛で惱んで居るお方があれば中央部として、凝つと見て居るわけに參りません。どん〳〵心に思つた通りを書き送つて下さい、出來る限り御力になり度いと思ひます。

△吉岡理事は二月十二日より靜岡縣小笠郡處女會大會の講演に御出張なさいました。

△三月四日には各地方に處女會がある事と思ひます。その御樣子やお寫眞をお送り下さい（ひろの）

△懸賞募集私の崇敬する婦人と表紙に對する私の感想は大分投稿が參りました。皆よく出來ましたので四月號に發表いたします。

△皆さんから珍らしい繪葉書やら御自身の寫眞をお送り下さいまして有がたうございますお一人で一枚づゝお送り下さいますやう。願ひます。

二月號考へ物の答

「此の品を早く風呂敷に」久留米といふのが正解であります抽籤で左の方々に當りました。

鳥取縣角美子、島根縣野々村クニ、神奈川縣金子貞子、岐阜縣林ゆう、埼玉縣佐藤ひろ、群馬縣石原ひさ、廣島縣高島ふで、德島縣佐藤やす大分縣安藤しず、北海道日高ぶん、福島縣千代田サダ子、香川縣小松すて、新潟縣新保すて、岩手縣森光子、東京府佐藤ゆわ、福島縣齋藤便子、東京府井上コウ、靜岡縣杉田ふみ、福井縣岡部培子、石川縣鍋よつ、愛媛縣後藤すて、秋田縣榊好子、福島縣佐々木千代、滋賀縣金谷つる、宮城縣鈴木ふみ、朝鮮古藤田りつ、三重縣大井きぬ、福島縣二瓶きのい、長野縣宮坂よし岐阜縣田中かん

考へ物新題

新題　輝ける二見ヶ浦の朝日かげ
　　天照る神の光り〇〇なり

この〇〇の處へ漢字で縣の名を入れて下さい
締切三月十日。本郷區元町二ノ六六處女の友發行所宛のこと、答はハガキに限る其の他の投稿も凡て發行所宛のこと

毎月一回一日發行

定價表

冊數	定價	郵稅
一冊	拾八錢	五厘
六冊	壹圓八錢	不要
十二冊	貳圓	不要

註文規定

〇註文はすべて前金のこと
〇送金は振替が便利で安全ゆへなるべくこれによられたし
〇郵劵代用の時は必らず一割增のこと
〇前金切の時は帶封に「前金切」と印しおくゆへ直に送金せられたし
〇送金のときは第何月號より第何月號と明記せられたし

大正十年二月廿七日印刷
大正十年三月一日發行

東京市本鄉區元町二ノ六六
發行人 印刷人　田所楠猪
編輯人　天野藤男
東京市神田區小川町三十六
印刷所　成巧社印刷所
東京市麴町區紀尾井町三番地
處女會中央部

發行所
東京市本鄉區元町二ノ六六
處女の友發行所
振替東京六一九〇番
電話小石川四三八四番

大賣捌
東京堂、北隆館、至誠堂其他

青年圖書

大久保四州著（第十四版）

青年訓話 軍神乃木

乃木將軍の感化の力の偉大なる事は本書が日に新に熱狂的大歡迎を受くるによりても知らる。

定價五拾錢＝送料四錢

月刊雜誌 帝國青年

青年の好伴侶▲指導者の研究舞臺▲修養研究向上娯樂▲青年團の連絡▲定價一部二十錢送料一錢▲半年分一圓廿錢▲一年分二圓三十錢稅共

青年團中央部編纂
第四回青年團講習會講習錄

新時代の青年團

新時代に處して青年團體を如何に指導すべきかの問題は二十有餘大家の權威ある講演に依り解決さる

定價一圓五十錢＝送料六錢

青年團員手牒

定價十二錢＝送料三部迄二錢

今や日本全國の青年團は益々結束を堅うして團員相互の連絡を圖り互ひに激勵修養する爲に團員各自に『青年團員手牒』を所持せしむ而して本手牒は當に天下を風靡しつゝあり。

帝國青年の歌

定價五錢＝送料九部迄二錢

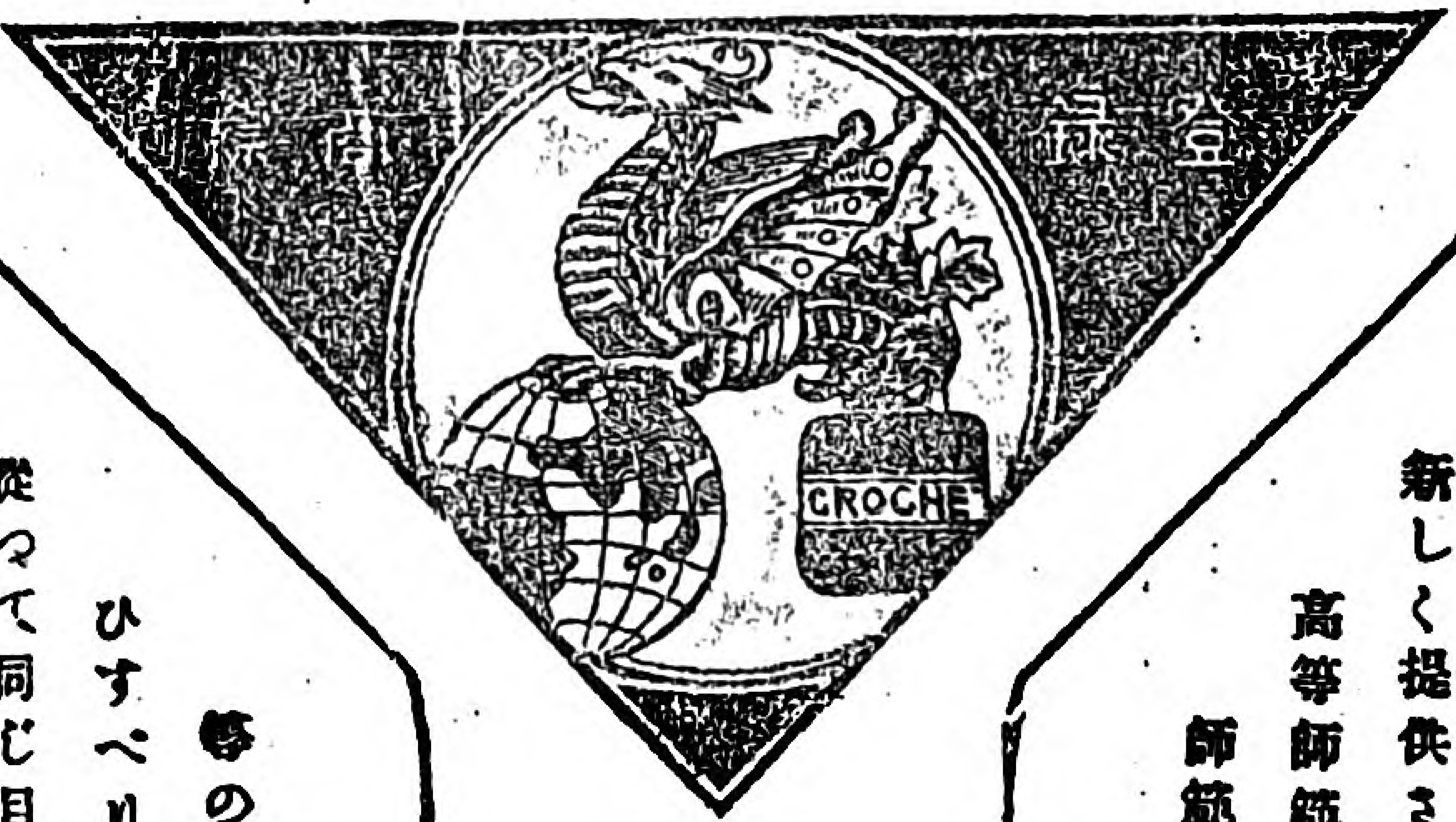
緬羊の飼ひ方

定價六十五錢＝送料四錢

東京市赤坂區溜池町三十一　帝國青年發行所　振替口座東京二一六八番

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

○御註文の節は處女の友の廣告に據る旨御書添へを乞ふ○



何もかもが改造されて參りましたのに、御家庭用品の中でも大切な縫糸が、古い時代の姑息の品で、お間に合ふ答はありません。皆樣の御要求により十分研究を重ねて、新しく提供された、殆ど理想に近い此のキリン縫糸をお試み下さい。東京女子高等師範學校、共立女子職業學校、戸板渡邊、和洋各裁縫女學校、全國女子師範高等女學校、三越呉服店、白木屋呉服店を始め斯道の大家、實際家の御證明、御推賞を頂き多々御用命を承つて居りますのも此の

新しく出來たキリン縫糸

が、從來の糸に比して非常に優れた點を持つて居るからです。上等の綿で紡いでありますから引が強く、瓦斯燒シルケット掛ですから縫ひすべりが非常によく、細さも丁度使ひ加減で絹小町の代りにもなります。從つて同じ目方で從來の糸よりも、三割五分は長くなつてゐます。一方販賣にも多くの人手を用さず直接皆樣にお願ひするのですから、旁々非常に割安になつて居ます。四時折々の御贈答品として品質の良い包裝の瀟洒なキリン縫糸をおすゝめ致します

東亞綿絲工業株式會社

東京市日本橋區堀江町

（三越・白木・其他有名呉服店・雜貨店等にあり）

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

創刊十六年地方振興
民力涵養の機關

新民

三月號　一部 卅錢　一年 三圓六十錢

全國町村長會記念號

農村と自治……大隈侯爵
教育と財政……中橋文相
町村長諸君に望む……床次内相
教育と地方財政……小林丑三郎
地方財政の現況と其對策……田中内務事務官
義務教育費國庫負擔問題……前田利定。岡田良平。松田源治。大津淳一郎。濱田國松諸氏
全國町村長會の記……創立總會より發會式、會議、視察の狀況一目瞭然

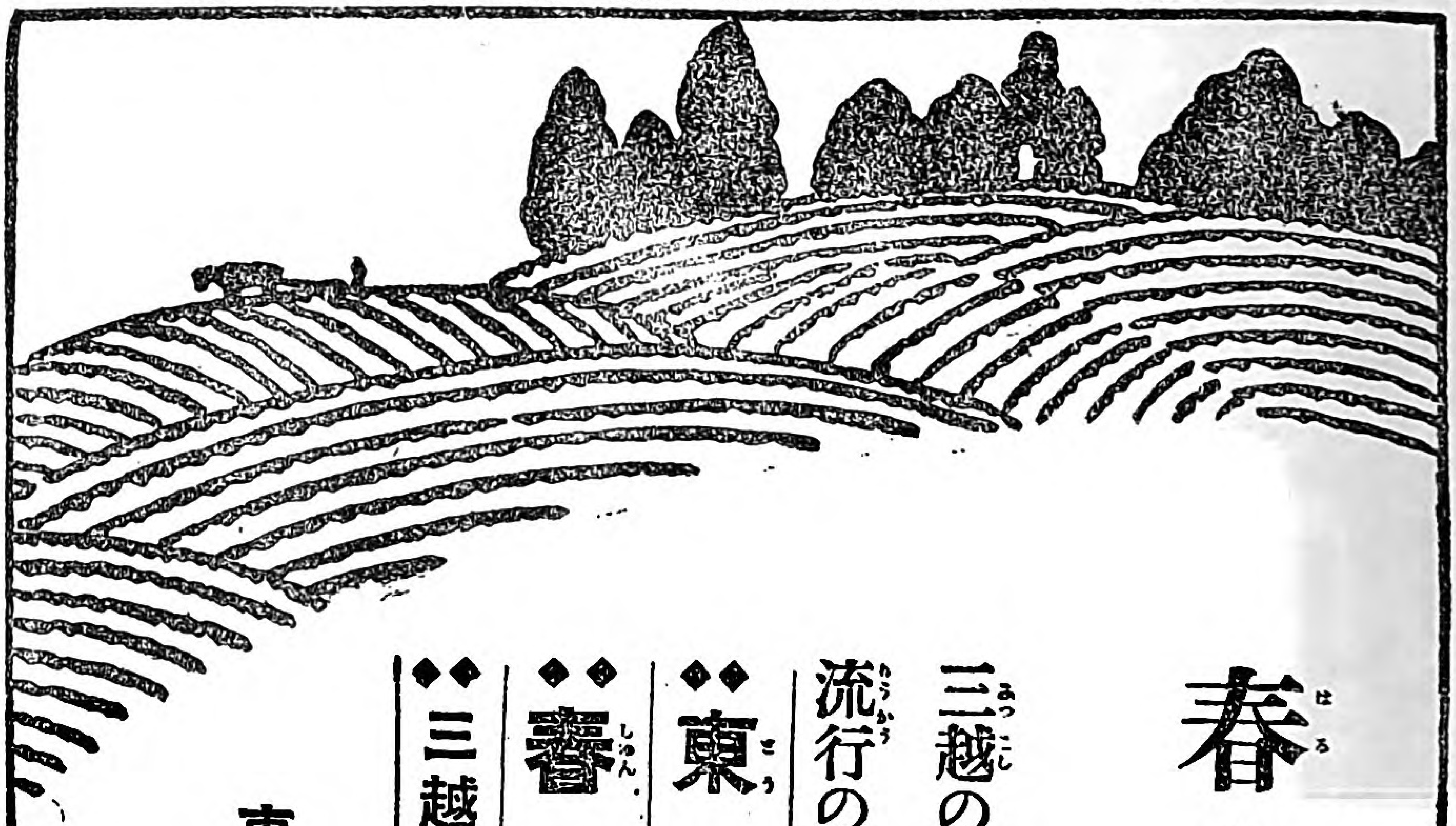
△北海道、東北(六縣)新潟、岐阜、山口 各府縣の會員諸君には特に地方版を配布す

增補六版
山崎延吉先生著
婦人の覺醒
價三十錢　送料二錢
附表　女房の善惡鏡

內務書記官　田子一民先生著
米國に於けるアルコール戰
(再版)　定價金參拾錢　送料二錢

發行所　東京市赤坂區溜池町三十一　中央報德會　振替東京九七〇〇

○御註文の節は處女之友の廣告に據る旨御書添へを乞ふ○



春の此の日和を……

……三越へ、必要品揃ひの三越へ

三越の店は常に清新の氣に滿て居ります、殊に流行の新品や、その他澤山取揃て御座います。

◆◆東洋品陳列

支那を中心としたる、東洋の雜貨を集め三月廿日より

◆◆春季新柄陳列

三越獨特の流行の新柄呉服類を三月二十日より陳列

◆◆三越の三月の定休日◆三月十日◆三月廿五日◆

東京

三越呉服店

大正七年十二月二十五日第三種郵便物認可
大正十年二月二十七日印刷納本
大正十年三月一日發行（毎月一回一日發行）

一部定價　金十八錢

處女會中央部

東京市本郷區元町二ノ六六
處女之友發行所

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN